1　企画展

椿×名品展　―ふたたび、五浦へ

●会期　2023(令和５)年４月29日(土･祝)～ ６月11日(日)
●主催　茨城県天心記念五浦美術館
●特別協力　あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
●後援　朝日新聞水戸総局/茨城新聞社／株式会社茨城放送／ NHK水戸放送局／産経新聞社水戸支局／東京新聞水戸支局／毎日新聞水戸支局／読売新聞水戸支局／北茨城市／北茨城市教育委員会
●ポスター　Ｂ２
●チラシ　Ａ４
●リーフレット　182×182㎜／16頁

●開催日数　38日間
●入場者数　７,594人
●観覧料　一般730(630)円／満70歳以上360(310)円／高大生520(420)円／小中生320(210)円
※(　)内は20名以上の団体料金
※４月29日(土・祝)は満70歳以上の方は無料
●出品点数　全85点
●内容解説

艶やかな葉と可憐な花をもつ椿は、日本原産の花であり、冬の寒さを耐え抜く強い生命力をもつことから縁起のよい木とされている。また、「日本書紀」には神聖な呪木として登場し、「万葉集」にも詠まれるなど古くから日本人に親しまれてきた。江戸時代には琳派をはじめ多くの作家たちによって絵画や工芸などに椿のモチーフが用いられたが、近代以降も日本画、洋画、工芸などの分野で多くの作家たちが椿を表現し、数多くの名品が生まれている。

本展では、椿絵のコレクションで知られるあいおいニッセイ同和損害保険のコレクションから、尾形光琳に代表される琳派の工芸作品をはじめ、横山大観、奥村土牛らの日本画、岸田劉生、香月泰男らによる洋画など椿をモチーフにした作品を紹介した。あわせて特別展示として「片口直樹―赤い椿白い椿と落ちにけり」を開催した。

●担当　木内智美(主任学芸主事)

●関連事業

オープンワークショップ「椿の花で美術館を飾ろう」
日時　４月29日(土) ～ ６月11日(日)　開館時間内
講演会「恋する椿絵」
日時　５月６日(土)　午後１時30分～
講師　野地耕一郎氏(泉屋博古館東京・館長)
展覧会担当によるギャラリートーク
日時　５月13日(土)、６月４日(日)
午後１時30分～
担当　木内智美(主任学芸主事)
鑑賞ワークショップ「床の間の美学。畳で日本画鑑賞！」
日時　４月30日(日)
午前10時～午前11時／午後１時～午後２時
ワークショップ「椿を描く」
日時　５月20日(土)午前10時～／午後１時30分～
来て・見て・発見！アートツアー for kids
日時　５月20日(土)　午前10時～
特別展示「片口直樹―赤い椿白い椿と落ちにけり」
日時　開催期間中　開館時間内

●関連記事

・「『椿』テーマの名品紹介　北茨城の五浦美術館 29日から企画展」　４月26日【福島民報新聞】
・「企画展『椿×名品展　―ふたたび、五浦へ』」　４月27日【福島民報新聞】
・「企画展『椿×名品展　―ふたたび、五浦へ』」　４月29日【福島民友新聞】
・「企画展『椿×名品展　―ふたたび、五浦へ』」　４月29日【読売新聞】
・「ツバキの名作 85点がずらり 五浦美術館」　４月29日【東京新聞】
・「『椿』題材　絵画や工芸　県五浦美術館企画展開幕 16年ぶり同テーマ」　４月30日【茨城新聞】
・木内智美＜いづらだより＞17 「五浦に咲く椿の名品」　５月７日【東京新聞】
・木内智美「『色絵椿文四方向付』 ポップな『光琳模様』」　５月21日【茨城新聞】
・木内智美「横山大観『雪旦』 澄んだ空気 凜と咲く」　５月22日【茨城新聞】
・井野功一「片口直樹の油彩画　時の流れ締めくくる」　５月23日【茨城新聞】
・「吉祥のモチーフ 16年ぶり再開」　５月27日【産経新聞】
・「『椿』の魅力 多彩な表現 近世―近現代の絵画・工芸」　６月４日【茨城新聞】

●関連放送

・「シェア！」　５月８日【福島放送】
・「福の空」　５月11日【テレビユー福島】

ポスター　B2

チラシ　A4

リーフレット

特別展示リーフレット

出品作品一覧

江戸時代から現代へ　―語り継がれる椿の名品たち

No.	作者名	作品名	制作年	材質技法・形状	寸法(縦×横)cm	所蔵
1	伝 狩野 山楽	椿梅図	桃山-江戸初期 (16-17世紀)	紙本・金地着色・ 二曲一隻屏風	174.0×184.6	★
2	松花堂 昭乗	石臺椿之図	江戸時代(17世紀)	紙本・墨画淡彩・軸装	30.6×29.5	★
3	尾形 光琳	紅椿図団扇	江戸時代(18世紀)	紙本・着色・額装	23.6×23.3	★
4	尾形 光琳	椿図絵硯箱	江戸時代(18世紀)	木製漆塗	(縦)25.0× (横)22.4× (高)10.3	★
5	尾形 乾山	山茶花図	江戸時代(18世紀)	紙本・着色・軸装	26.0×24.8	★
6	尾形 乾山	色絵椿文四方向付	江戸時代(18世紀)	陶器(5客)	各(径)16.3× (高)5.5	★
7	尾形 乾山	色絵椿文輪花向付	江戸時代(18世紀)	陶器(5客)	各(径)10.3× (高)7.2	★
8	尾形 乾山	銹絵椿図角皿	江戸時代(18世紀)	陶器	22.0×22.0× (高) 2.5	★
9	酒井 抱一	藪椿鶯図	江戸時代(19世紀)	紙本(扇面)・着色・額装	(縦)15.2× (上弦)44.5× (下弦)17.5	★
10	松村 景文	沙羅椿と雀図	江戸時代(19世紀)	紙本・淡彩・軸装	126.8×38.2	★
11	鈴木 其一	梅椿図	江戸時代(19世紀)	紙本・墨画淡彩・額装	94.5×29.0	★

椿と日本画　―伝統的表現から個性へ

No.	作者名	作品名	制作年	材質技法・形状	寸法(縦×横)cm	所蔵
12	横山 大観	雪旦	大正15(1926)年	絹本・着色・軸装	143.3×50.4	★
13	松林 桂月	八哥鳥	昭和21-25(1946-1950)年	紙本・着色・額装	23.6×23.3	★
14	冨田 溪仙	園中春暖図	昭和 8 (1933)年	絹本・着色・軸装	129.1×35.8	★
15	冨田 溪仙	春の花篭図	昭和5-6(1930-1931)年	絹本・着色・額装	45.4×57.5	★
16	小林 古径	椿図	昭和20-23(1945-1948)年	紙本・着色・軸装	27.8×33.4	★
17	小林 古径	椿	昭和26(1951)年	紙本・着色・額装	65.9×45.5	★
18	竹久 夢二	舞妓	大正中期(1915-1920)頃	絹本・着色・額装	124.3×42.0	★
19	安田 靫彦	紅白椿	昭和15(1940)年頃	紙本・着色・額装	54.2×68.7	★
20	安田 靫彦	紅白椿	昭和30(1955)年	紙本・着色・額装	40.5×32.0	★
21	前田 青邨	椿と鳥	昭和24(1949)年頃	紙本・着色・額装	49.6×58.4	★
22	前田 青邨	椿	昭和25(1950)年頃	紙本・着色・額装	37.4×48.8	★
23	前田 青邨	椿	昭和39(1964)年	紙本・着色・額装	71.8×87.0	★
24	堅山 南風	オランダ染付壺ノ椿	昭和30(1955)年頃	紙本・着色・額装	62.6×45.1	★
25	堅山 南風	古代壺の花	昭和48(1973)年頃	紙本・着色・額装	66.7×56.9	★
26	村上 華岳	金紙・椿図	制作年不詳	絹本・金地着色・軸装	32.2×42.0	★
27	村上 華岳	紅椿	制作年不詳	絹本・着色・軸装	128.0×56.2	★

No.	作者名	作品名	制作年	材質技法・形状	寸法(縦×横)cm	所蔵
28	村上 華岳	椿花図	大正13(1924)年頃	絹本・着色・額装	40.9×51.7	★
29	小野 竹喬	紅椿	昭和17(1942)年	紙本・着色・軸装	25.0×24.0	★
30	奥村 土牛	椿花	昭和57-58(1982-1983)年頃	紙本・着色・額装	40.8×30.8	★
31	奥村 土牛	紅椿	昭和30(1955)年頃	絹本・着色・額装	58.0×73.0	★
32	奥村 土牛	椿	昭和35-38(1960-1963)年頃	紙本・着色・軸装	40.8×40.8	★
33	小茂田 青樹	春苑	昭和 8 (1933)年	紙本(扇面)・金地着色・額装	(縦)17.0×(上弦)54.0×(下弦)24.2	★
34	堂本 印象	春花・春鳥	昭和14(1939)年頃	絹本・着色・軸装	43.0×51.0	★
35	岸田 劉生	椿花	制作年不詳(n.d.)	紙本・着色・軸装	25.0×36.5	★
36	岸田 劉生	椿之図	大正12(1923)年	絹本・着色・額装	25.0×36.5	★
37	金島 桂華	雪中椿	昭和10(1935)年頃	絹本・着色・軸装	126.5×27.5	★
38	福田 平八郎	八重椿	昭和18(1943)年頃	紙本・着色・額装	31.0×48.0	★
39	木村 荘八	椿図	昭和前半期(1930-1940)頃	紙本・着色・軸装	27.8×35.5	★
40	山口 蓬春	都波喜	昭和30(1955)年頃	紙本・着色・額装	50.0×38.4	★
41	山本 倉丘	瓶花	昭和55(1980)年頃	紙本・着色・額装	40.8×27.0	★
42	中川 一政	早春花	昭和50(1975)年頃	紙本(扇面)・着色・軸装	31.0×67.4	★
43	中川 一政	椿	昭和37(1962)年	紙本・着色・額装	57.2×42.2	★
44	小倉 遊亀	椿	昭和48-50(1973-1975)年頃	紙本・金地着色・額装	46.4×38.4	★
45	小倉 遊亀	古九谷徳利と白椿	昭和61(1986)年	紙本・金地着色・額装	50.4×42.4	★
46	小倉 遊亀	椿	昭和48-50(1973-1975)年頃	紙本・金地着色・額装	43.4×60.3	★
47	山口 華楊	寒椿	昭和50(1975)年頃	紙本・着色・額装	38.4×46.0	★
48	三輪 晁勢	椿	昭和50(1975)年	紙本・着色・額装	27.0×24.0	★
49	上村 松篁	椿	昭和32(1957)年	絹本・着色・軸装	43.5×51.0	★
50	橋本 明治	椿(浅春)	昭和29-30(1954-1955)年	紙本・着色・軸装	50.5×58.3	★
51	堀 文子	繚乱	昭和57(1982)年	紙本・着色・額装	73.0×90.2	★
52	堀 文子	椿之図	昭和57(1982)年	紙本・着色・額装	66.0×50.6	★
53	堀 文子	春の花籠	昭和60(1985)年	紙本・着色・額装	45.5×53.5	★
54	堀 文子	春の籠	昭和60(1985)年	紙本・着色・額装	45.5×53.5	★
55	松尾 敏男	瓶花	昭和61(1986)年	紙本・着色・額装	65.0×50.0	★
参考	永田 春水	春光熙々	大正15(1926)年	絹本・着色・額装	239.0×140.0	茨城県近代美術館
参考	山口 華楊	春盡	昭和55(1980)年	紙本・着色・額装	91.0×65.0	国際交流基金

油彩で描かれた椿　―洋画家たちのまなざし

No.	作者名	作品名	制作年	材質技法・形状	寸法(縦×横)cm	所蔵
56	満谷 国四郎	椿	大正後期(1920-1925)頃	板・油彩・額装	37.9×45.4	★
57	熊谷 守一	春の日	昭和41(1966)年	板・油彩・額装	15.6×22.5	★
58	梅原 龍三郎	唐美人椿	昭和31(1956)年	麻布(扇面)・油彩・額装	(縦)20.8×(上弦)80.0×(下弦)36.0	★
59	岸田 劉生	籠椿	大正13(1924)年	麻布・油彩・額装	36.6×45.0	★
60	中川 一政	椿	昭和35(1960)年	麻布・油彩・額装	53.0×45.6	★
61	児島 善三郎	支那壺に椿	昭和5-24(1930-1940)年頃	麻布・油彩・額装	41.0×32.0	★
62	椿 貞雄	椿花	昭和23(1948)年	麻布・油彩・額装	33.0×52.8	★
63	椿 貞雄	白磁壺と椿	昭和23-24(1948-1949)年	麻布・油彩・額装	43.4×60.3	★
64	椿 貞雄	春雪	昭和17(1942)年	麻布・油彩・額装	70.3×90.6	★
65	鳥海 青児	野椿古瀬戸徳利	昭和35(1960)年頃	麻布・油彩・額装	45.0×37.8	★
66	鳥海 青児	椿	昭和45(1970)年頃	麻布・油彩・額装	41.0×32.0	★
67	橋本 花	椿林	昭和32(1957)年	麻布・油彩・額装	71.0×90.0	★
68	香月 泰男	白椿	昭和46(1971)年	麻布・油彩・額装	41.0×24.5	★
69	香月 泰男	椿花	昭和46(1971)年	麻布・油彩・額装	26.5×21.0	★
70	糸園 和三郎	椿(花一輪)	昭和62(1987)年	麻布・油彩・額装	33.4×24.0	★
71	福井 良之助	椿	昭和59(1984)年	麻布・油彩・額装	60.6×72.4	★

No.	作者名	作品名	制作年	材質技法・形状	寸法(縦×横)cm	所蔵
参考	岸田 劉生	籠中脂香	大正12(1923)年	麻布・油彩・額装	32.1×33.5	茨城県近代美術館
参考	須田 国太郎	椿	昭和15(1940)年頃	麻布・油彩・額装	50.0×61.0	茨城県近代美術館

表現の広がり　―近現代作家による多彩な表現の椿

No.	作者名	作品名	制作年	材質技法・形状	寸法(縦×横)cm	所蔵
72	北大路 魯山人	色絵椿文鉢	昭和10年代(1935-1944)頃	陶器	(口径)36.7×(高)18.5	★
73	徳岡 神泉	紅椿	昭和37(1962)年	紙本・着色・額装	32.0×45.8	★
74	斎藤 清	椿	昭和55(1980)年	紙・版画・額装	98.0×68.0	★
75	髙山 辰雄	椿	昭和60(1985)年頃	絹本・着色・額装	65.0×49.0	★
76	加藤 東一	春を告げる花	昭和48(1973)年頃	紙本・着色・額装	32.0×41.0	★
77	大山 忠作	椿	昭和35(1960)年	紙本・着色・額装	53.2×73.2	★
78	小泉 淳作	椿	昭和61(1986)年	紙本・着色・額装	57.8×33.6	★
79	牧　進	初霞	昭和56(1981)年	紙本・着色・額装	172.5×169.5	★
80	久保 嶺爾	春の岬	昭和54(1979)年	紙本・着色・額装	33.0×53.0	★
81	中島 千波	酒中花	昭和55(1980)年	紙本・着色・額装	48.0×30.0	★
82	青山 亘幹	大虹	昭和59(1984)年頃	絹本・金地着色・軸装	64.0×79.0	★
83	林　功	静光(日に椿)	昭和50(1975)年頃	紙本・着色・六曲一隻屏風	161.0×364.0	★
84	松村 公嗣	春	昭和61(1986)年	紙本・着色・額装	73.0×53.4	★
85	大野 俊明	曙	昭和60(1985)年	紙本・着色・額装	53.0×72.0	★

★印の作品はすべてあいおいニッセイ同和損害保険株式会社蔵

特別展示

片口直樹　―赤い椿白い椿と落ちにけり

No.	作者名	制作年	材質技法・形状	寸法(縦×横)cm
1	うかぶ	2016年	映像データ(約7分)	※横田将士との共作
2	すくう	2017年	油彩・キャンバス・額装	194×259cm
3	そえる	2017年	油彩・キャンバス・額装	91×117cm
4	めぐる	2020年	映像データ(約3分30秒)	※横田将士との共作
5	My Camellia	2023年	油彩・キャンバス・額装	97×146cm
6	Your Camellia	2023年	油彩・キャンバス・額装	97×146cm

再興第107回院展　茨城五浦展

●会期　2023(令和５)年６月23日(金)～７月17日(月・祝)

●主催　茨城県天心記念五浦美術館
公益財団法人　日本美術院

●後援　朝日新聞水戸総局／茨城新聞社／株式会社茨城放送／NHK水戸放送局／産経新聞社水戸支局／東京新聞水戸支局／毎日新聞水戸支局／読売新聞水戸支局／北茨城市／北茨城市教育委員会

●ポスター　B２

●チラシ　A４

●図録　A４変形版／240×250㎜／119頁

●開催日数　22日間

●入場者数　4,896人

●観覧料　一般840(730)円／満70歳以上420(360)円／高大生630(520)円／小中生320(210)円
※(　)内は20名以上の団体料金
※６月24日(土)は満70歳以上の方は無料

●出品点数　全65点

●内容解説

日本美術院は明治31年、岡倉天心を中心に横山大観、下村観山、菱田春草ら気鋭の若手日本画家が加わって設立された美術団体である。大正２年、天心の逝去後にはその精神を受け継いだ大観、観山らによって再興の機運が高まり、翌大正３年に再興日本美術院が発足し、以後多くのすぐれた日本画家を輩出して今日にいたっている。

当館が建つ茨城県北茨城市五浦は、明治39年に日本美術院の第一部絵画の研究所が置かれたことから、近代日本画史に残る日本美術院ゆかりの地として知られている。再興第107回院展の全国巡回の最後を飾る茨城五浦展では、第一線で活躍する同人の作品をはじめ日本美術院賞、奨励賞、さらに第28回天心記念茨城賞の受賞者を含む茨城ゆかりの作家等の作品、あわせて65点を紹介した。

●担当　永宮勤士(主任学芸員)

●関連事業

オープニングイベント
・出品画家によるギャラリートーク
　日時　６月23日(金)　午前10時～午前10時50分
　講師　倉島重友氏(日本美術院同人・評議員)
・那波多目功一氏(日本美術院同人・代表理事)、倉重重友氏によるサイン会
　日時　６月23日(金)　午前11時～

ワークショップ「金銀砂子de缶バッジ」
　日時　７月１日(土)午前10時～、午後１時30分～

展覧会担当によるギャラリートーク
　日時　７月２日(日)　午後１時30分～(約60分)
　担当　永宮勤士(主任学芸員)

来て・見て・発見！アートツアー for kids
　日時　７月８日(土)　午前10時～

アンサンブル・ローゼ 帰国記念コンサート
　日時　７月15日(土)　午後２時～
　出演　アンサンブル・ローゼ

●関連記事

・「23日～『院展 茨城五浦展』」　６月８日【よみうりタウンニュース】
・「再興院展 五浦美術館 日本画65点が集結」　６月20日【毎日新聞】
・「日本画65点 あすから院展」　６月22日【読売新聞】
・「あすから院展五浦展 茨城の美術館」　６月22日【福島民報新聞】
・「17日まで院展　茨城五浦展」　６月24日【福島民報新聞】
・「日本画の最高峰65点　茨城五浦美術館　４年ぶり、院展巡回展が開幕」　６月24日【茨城新聞】
・永宮勤士　＜いづらだより＞19 「満を持して院展開催」　７月２日【東京新聞】

●関連放送

・「いば６」　７月12日【NHK水戸放送局】

ポスター　B2

チラシ　A4

図録

出品作品一覧

●同人（推挙順）

No.	作者名等	作品名	寸法(縦×横)cm	受賞等
1	下田 義寛	塒	191.5 × 159.6	
2	伊藤 髟耳	山の上ギャラリーの緑	181.0 × 220.0	
3	田渕 俊夫	輝きの朝	176.4 × 369.0	
4	那波多目 功一	雄姿	230.9 × 311.5	
5	手塚 雄二	池之端	175.4 × 346.4	
6	宮廻 正明	抒情詩	212.8 × 283.3	
7	西田 俊英	神景・那智	205.2 × 387.1	
8	松村 公嗣	夕映え	176.4 × 369.0	
9	大矢 紀	北の神山	205.0 × 251.0	
10	高橋 天山	螢・玉鬘	170.0 × 215.0	
11	吉村 誠司	想壁	227.0 × 198.0	
12	村上 裕二	雷音とゆけ!!	179.4 × 179.4	
13	倉島 重友	白い街	196.0 × 240.9	
14	清水 由朗	未知の岸辺	175.4 × 394.4	
15	齋藤 満栄	牡丹	216.0 × 306.0	
16	小田野 尚之	朝	180.5 × 322.0	
17	宮北 千織	二十歳の心	238.5 × 192.5	
18	大野 逸男	霧の柳生道	180.6 × 177.5	内閣総理大臣賞
19	北田 克己	風の朝	181.4 × 323.4	
20	村岡 貴美男	四季の舟	231.5 × 190.5	
21	井手 康人	海乃神	192.0 × 384.0	
22	中村 譲	九份豎崎路	243.0 × 198.0	
23	國司 華子	1943〈Hommage K〉	170.0 × 222.0	足立美術館賞
24	藁谷 実	万葉の山	191.3 × 236.2	
25	岸野 香	メッセージ	196.5 × 241.5	
26	松本 高明	可睡の池	194.0 × 239.0	
27	番場 三雄	叢林残雪	197.5 × 242.7	
28	髙島 圭史	光つもる渓	199.1 × 254.9	
29	山本 浩之	よどむ部屋	232.8 × 187.6	
30	山田 伸	野分のまたの日	198.8 × 244.3	
31	前田 力	街の標	235.8 × 190.8	文部科学大臣賞

●一般入選

No.	作者名	作品名	寸法(縦×横)cm	受賞等
32	阿良山 早苗	天ノ窓	225.0 × 180.0	
33	石村 雅幸	不撓の樹	215.0 × 170.0	
34	岩谷 晃太	線とトンネル	180.0 × 225.0	奨励賞
35	岩永 てるみ	空の青、底の青	218.0 × 174.0	
36	大久保 智睦	Grow In	176.0 × 221.0	
37	大矢 十四彦	聖堂	225.0 × 180.0	
38	岡田 眞治	時空を駆ける	179.0 × 224.0	
39	小田切 恵子	根	210.0 × 180.0	
40	鬼塚 堅太	阿蘇	180.0 × 225.0	
41	加藤 厚	髙嶺の薫風	180.0 × 225.0	奨励賞
42	川﨑 麻央	音楽室は根の国	179.4 × 224.4	日本美術院賞(大観賞) 東京都知事賞
43	河本 真里	百草の花	180.0 × 225.0	
44	神田 良子	20万年の歳月	225.0 × 180.0	
45	木下 千春	陀羅尼	180.0 × 225.0	

No.	作者名	作品名	寸法(縦×横)cm	受賞等
46	近藤 仁	カラクリ	180.0 × 225.0	
47	齋藤 竜太	春告草	225.0 × 180.0	
48	下田 博子	お祈りに来た蝶々	210.0 × 168.0	奨励賞
49	鈴木 恵麻	夜語り	211.4 × 166.5	奨励賞
50	鈴木 一枝	振動	177.5 × 220.5	
51	鈴木 ちか子	華燭の花	225.0 × 180.0	奨励賞
52	武部 雅子	COMPLETE MESS	218.0 × 178.0	
53	谷 善徳	鳥越の古道	180.0 × 225.0	奨励賞
54	樋田 礼子	井の頭(7) ―阿弥陀聖衆来迎図―	180.0 × 225.0	奨励賞
55	仲 裕行	日出ずる国へ	225.0 × 180.0	奨励賞 第28回天心記念茨城賞
56	新倉 嘉江	霧の中	180.0 × 225.0	
57	松岡 歩	市場	180.0 × 225.0	奨励賞
58	三浦 愛子	羊飼い	175.0 × 220.0	奨励賞
59	水見 剛	空に耀く	223.0 × 178.0	
60	村上 里沙	星鏡	180.0 × 225.0	奨励賞
61	守 みどり	玄鳥至	225.0 × 180.0	日本美術院賞(大観賞)
62	谷中 武彦	風の道	170.0 × 210.0	
63	山﨑 佳代	Prima vera	176.0 × 225.0	奨励賞
64	吉田 侑加	reflection city	180.0 × 225.0	奨励賞
65	龍 周毅	Liminal	225.0 × 180.0	初入選

・本展は、再興第107回院展出品作品から選抜した65点を展示した。

岡倉天心『東洋の理想』から120年 天心と画家たちのアジア

●会期　2023(令和５)年７月22日(土)～９月３日(日)
●主催　茨城県天心記念五浦美術館
●ポスター　B２
●チラシ　A４
●リーフレット　A５版／210×148㎜／16頁
●開催日数　38日間
●入場者数　７,556人
●観覧料　一般320(260)円／満70歳以上160(130)円／高大生210(150)円／小中生150(100)円
※(　)内は20名以上の団体料金
●出品点数　全20点
●内容解説

岡倉天心(覚三)の英文著作『東洋の理想』(OKAKURA Kakuzo “The Ideals of the East”)が明治36年(1903)に出版されてから、120年が経った。「アジアはひとつなり／Asia is one」という有名な一節で始まる本書の中で天心は、アジアの宗教的・文化的一体性というイメージを提示した上で、特に日本美術史に関して主に中国とインドからの影響関係について論じている。

天心が日本美術の源流をアジアに求めたのと同じように、横山大観を筆頭とする日本美術院の画家たちも、アジアを主題とした作品を数多く制作した。画家たちは、広くアジアに目を向けることで、日本画の在り方を模索していった。

本展では、茨城県近代美術館の所蔵作品を中心に、中国の故事や仏教説話に取材した歴史画、画家が実際にアジアを旅し、現地での体験をもとに描いた作品、また、現代の画家による仏教をテーマに描いた作品など、広くアジアを主題に描いた作品を紹介した。

●担当　木澤沙羅（学芸員）
●関連事業
講演会「いま、『東洋の理想』から学ぶこと」
　日時　７月29日(日)　午後１時30分～（約90分）
　講師　古田亮氏(東京藝術大学大学美術館教授)
展覧会担当によるギャラリートーク
　日時　８月12日(土)、９月２日(土)
　各日午後１時30分～（約30分）
　担当　木澤沙羅（学芸員）
ワークショップ「揉み紙でブックカバー」
　日時　８月５日(土)午前10時～、午後１時30分～
●関連記事
・「岡倉天心『東洋の理想』から120年　天心と画家たちのアジア」　７月３日【読売新聞】
・「日本美術の源流を求めて」　７月21日【読売新聞】
・木澤沙羅　＜いづらだより＞20　「アジアに見いだす表現」　８月６日【東京新聞】
・「岡倉天心『東洋の理想』から120年　天心と画家たちのアジア」　８月12日【産経新聞】
・「天心『東洋の理想』120年展　日本美術の源流を探る県五浦美術館　アジア描いた作品紹介」　８月24日【茨城新聞】
●関連放送
・「サタふく」　７月22日【福島テレビ】
・「日本美術の源流探る　天心『東洋の理想』120年展　北茨城」　８月24日【茨城新聞動画ニュース】
・「日本美術の源流探る」　８月24日【いばキラＴＶ】

ポスター　B2

チラシ　A4

リーフレット

出品作品一覧

第1章：受け継がれるアジア

No.	作者名	作品名	制作年	材質／形状	寸法(縦×横)cm	所蔵
1	橋本 雅邦	維摩居士	明治18(1885)年頃	紙本・彩色・軸装	131×60	茨城県近代美術館
2	横山 大観	隠棲	明治35(1902)年	絹本・彩色・軸装	120×49	茨城県近代美術館
3	桜井 華陵	竹林七賢	不詳	絹本・彩色・軸装	125.7×61.3	個人蔵
4	菱田 春草	菊慈童	明治34(1901)年	絹本・彩色・軸装	120×49.8	茨城県近代美術館
5	木村 武山	出山之釈迦	明治45-大正3年頃(1908-1914)	絹本・彩色・軸装	117.3×55	個人蔵
6	小川 芋銭	五柳先生	大正8(1919)年	絹本・彩色・軸装	127.5×41	個人蔵
7	山村 耕花	寒山・拾得	大正6(1917)年	絹本・彩色・金泥・軸装(対幅)	左幅：132.4×49.4 右幅：132.7×49.4	茨城県近代美術館
8	木村 武山	阿房劫火	明治40(1907)年	絹本・彩色・軸装	141×240.8	茨城県近代美術館
9	下村 観山	高士観瀑	大正8(1919)年	絹本・彩色・軸装(対幅)	各142.2×55.3	茨城県近代美術館
資料1	岡倉 天心(覚三)	The Ideals of the East	明治36(1903)年	ジョン・マレー社(ロンドン)	19.8×13.5×3	茨城県天心記念五浦美術館

【コラム】天心の中国美術調査

資料2	早崎 稷吉	中国旅行風景「大理石像十一号」	明治26(1893)年	プリント	10.7×16.5	茨城県天心記念五浦美術館
資料3	早崎 稷吉	中国旅行風景「大雁塔石彫 三十二号」	明治26(1893)年	プリント	11.2×15.2 台紙：15.0×21.3	茨城県天心記念五浦美術館
資料4	早崎 稷吉	中国旅行風景「楽遊原」	明治26(1893)年	プリント	10.8×15.5 台紙：17.6×21.5	茨城県天心記念五浦美術館
資料5	早崎 稷吉	中国旅行風景「龍門伊闕大石仏 二十四号」	明治26(1893)年	プリント	15.3×11.3 台紙：21.2×15.0	茨城県天心記念五浦美術館
資料6	早崎 稷吉	中国旅行風景「開元寺塔 十三号」	明治26(1893)年	プリント	16.5×10.8	茨城県天心記念五浦美術館
資料7	早崎 稷吉	中国旅行風景「居庸関石刻 六号」	明治26(1893)年	プリント	10.3×13.6 台紙18.0×24.5	茨城県天心記念五浦美術館
資料8	岡倉 天心	書簡・岡倉一雄宛	明治26年9月9日(1893)	紙・墨・便箋2枚	封筒：14.9×9.4 便箋：21.0×9.8	個人蔵

第2章：アジアを旅する

No.	作者名	作品名	制作年	材質／形状	寸法(縦×横)cm	所蔵
10	横山 大観	苦行	明治44(1911)年頃	紙本・彩色・軸装	126×61	個人蔵
11	堅山 南風	熱国の夕べ	大正6(1917)年	絹本・彩色・屏風(八曲一隻)	168×482	茨城県近代美術館
12	梅原 幸雄	線香花火	平成5(1993)年	紙本・彩色・額装	215×169.8	個人蔵
13	倉島 重友	川風	平成13(2001)年	紙本・彩色・額装	213×168	茨城県近代美術館(作者寄贈)
14	平山 郁夫	西域の千仏洞	昭和54(1979)年	紙本・彩色・額装	113×162	国際交流基金
15	福井 爽人	星のオアシス	平成15(2003)年	紙本・彩色・額装	165×285	個人蔵
16	菊川 三織子	花影	平成7(1995)年	紙本・彩色・額装	210×168	茨城県近代美術館(作者寄贈)
17	井手 康人	奏園	平成18(2006)年	紙本・彩色・額装	221×175.5	茨城県近代美術館(作者寄贈)
18	高橋 天山	ザンスカール	平成5(1993)年	彩色・紙本・額装	216×169.8	個人蔵

第3章：仏教を見つめて

No.	作者名	作品名	制作年	材質／形状	寸法(縦×横)cm	所蔵
19	村松 秀太郎	独鈷	平成2(1990)年	紙本・彩色・額装	212×243	茨城県近代美術館(村松馥氏寄贈)
20	畠中 光享	帰去来(祇孤独園)	平成18(2006)年	絹本・岩彩・墨・屏風(二曲一隻)	171×185.5	茨城県近代美術館(寺田小太郎氏寄贈)

間島秀徳展　天地無常

The Kinesis Always Reveals New Panoramas —そこに新たな風景が

●会期　2023(令和５)年９月13日(水)～11月26日(日)
●主催　茨城県天心記念五浦美術館
●協賛　いばらき観光キャンペーン推進協議会
●後援　朝日新聞水戸総局／茨城新聞社／株式会社茨城放送／産経新聞社水戸支局／東京新聞水戸支局／毎日新聞水戸支局／読売新聞水戸支局／北茨城市／北茨城市教育委員会／かすみがうら市／かすみがうら市教育委員会／武蔵野美術大学
●ポスター　Ｂ２
●チラシ　Ａ４
●図録　Ａ４変形版／240×252mm／88頁
●開催日数　67日間
●入場者数　９,637人
●観覧料　一般840(730)円／満70歳以上420(360)円／高大生630(520)円／小中生320(210)円
※(　)内は20名以上の団体料金
※９月16日(土)～22日(金)は満70歳以上の方は無料
※11月13日(月)は茨城県民の日のため全員無料
●出品点数　全96点
●内容解説

間島秀徳(1960-)は、水をテーマに一貫した制作を続ける作家である。1980年代後半から個展を中心に活動を続け、特に2000年代以降は、ギリシア語で「運動」や「変化」を意味する「Kinesis」を作品に題している。間島の絵画は、和紙、墨、岩絵具、膠といった伝統的な画材にアクリル絵具などを併用しながら、画面に水や絵具を流し込むことで、独自の絵肌を生み出している。また近年では、考古資料や古画、舞踏とのコラボレーションも盛んに行い、間島作品の豊壌なイメージは他者と響き合いながら、展開を続けている。

本展は、間島の大規模回顧展。初期作品から「Water Works」「Kinesis」シリーズ、そして新作に至るまでの作品を通じて、およそ40年にわたる画業を振り返ると同時に、間島芸術の現在を紹介した。

●担当　塩田釈雄(副主任学芸員)
●関連事業

間島秀徳による制作ワークショップ
　日時　９月16日(土)　午前10時～午後12時30分
天心書斎障壁画ツアー
　日時　９月24日(日)　午前10時～ 11時
Kinesis　～舞踏と音楽のコラボレーション～
　日時　10月９日(月・祝)　午後１時20分～
　出演　上杉満代(舞踊)、入間川正美(チェロ)
展覧会担当によるギャラリートーク
　日時　９月30日(土)、11月19日(日)
　　各日午後１時20分～
　担当　塩田釈雄(副主任学芸員)、
　　間島秀徳氏(出品作家　９月30日のみ)
アーティストトーク
　日時　10月22日(日)　午後１時20分～
　　10月28日(土)　午後３時30分～
　　11月24日(金)　午後１時～
　担当　間島秀徳氏(出品作家)、塩田釈雄(副主任学芸員)
　日時　11月18日(土)　午後１時20分～
　担当　間島秀徳氏(出品作家)、小金沢智氏(東北芸術工科大学専任講師)
来て・見て・発見！ アートツアー for kids
　日時　10月14日(土)　午前10時～
トワイライトコンサート
　日時　10月28日(土)　午後５時～
　出演　杉田愛実(クラリネット)、髙野真美(ピアノ)
クロストーク
　日時　11月３日(金・祝)　午後１時30分～
　出演　間島秀徳氏(出品作家)×小泉晋弥(当館館長)
小泉晋弥館長による親子向け鑑賞ワークショップ
　日時　11月25日(土)　午前10時30分～
小泉晋弥館長によるギャラリートーク
　日時　11月25日(土)　午後１時～

●関連記事

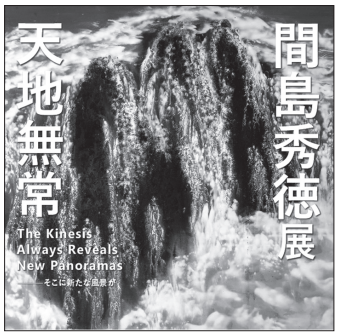
・「13日から間島秀徳展　北茨城　16日ワークショップ」　９月７日【福島民報新聞】
・「揺れる水の風景描き40年　日本画家・間島さん回顧展　五浦美術館13日から」　９月７日【東京新聞】
・「水テーマ　新たな風景画提示　かすみがうら拠点の間島秀徳氏　あすから展覧会」　９月12日【産経新聞】
・「水の流れ　自由に感じて　県五浦美術館　今日開幕　間島秀徳さん回顧展」　９月13日【茨城新聞】
・「間島さん『生の姿で作品見て』」　９月13日【東京新聞】
・「間島さんの作品集め五浦美術館が企画展　北茨城、11月26日まで」　９月14日【福島民友新聞】
・「11月26日まで　間島秀徳展　北茨城」　９月20日【福島民報新聞】
・塩田釈雄　＜いづらだより＞22　「水の『風景』20年を経て」　10月１日【東京新聞】
・「デジタルにないリアル体感して　間島秀徳展　県天心記念五浦美術館　26日まで」　11月23日【朝日新聞】

●関連放送

・「スクーピーレポート」９月13日【LuckyFM茨城放送】
・「いば６」　９月26日【NHK水戸放送局】
・「間島秀徳さん回顧展　茨城県天心記念五浦美術館」　９月14日【茨城新聞動画ニュース】
・「いばっちゃお(あなたとミュージアム)」　９月22日【NHK水戸放送局】

ポスター　B2

チラシ　A4



図録

出品作品一覧

No.	作品名	制作年	寸法	材質・形状	所蔵
1	Untitled	1987年	各246.0×151.5cm	木枠、雲肌麻紙、銀箔、墨、顔料、硫黄(2点組)	作家蔵
2	Untitled	1989年	150.0×400.0cm	パネル、雲肌麻紙、墨、アクリル	作家蔵
3	Untitled	1989年	220.0×560.0	パネル、雲肌麻紙、墨、顔料、岩絵具	作家蔵
4	Untitled	1989年(2023年補作)	215.0×390.0×65.0cm	パネル、雲肌麻紙、銀箔、アクリル、顔料、木枠、枝	作家蔵
5	Untitled	1991年	180.0×150.0cm	パネル、雲肌麻紙、水、墨、顔料、膠	作家蔵
6	Untitled	1992年	180.0×150.0	パネル、雲肌麻紙、水、墨、アクリル、顔料、膠	作家蔵
7	Untitled	1992年	180.0×150.0cm	パネル、雲肌麻紙、水、墨、アクリル、顔料、膠	作家蔵
8	Untitled	1992年	180.0×150.0cm	パネル、雲肌麻紙、水、墨、アクリル、顔料、膠	作家蔵
9	Untitled	1992年	200.0×210.0cm	パネル、綿布、アクリル	作家蔵
10	Untitled	1992年	230.0×140.0cm	パネル、綿布、アクリル	作家蔵
11	Untitled	1993年	240.0×320.0cm	パネル、綿布、水、アクリル	作家蔵
12	Untitled	1993年	260.0×180.0cm	パネル、雲肌麻紙、水、墨、アクリル、顔料、膠	練馬区立美術館
13	Untitled No.4	1995年	各100.0×100.0×20.5cm	パネル、綿、アクリル、溶岩、顔料、膠(4点組)	作家蔵
14	Untitled	1996年	直径130.0cm	パネル、雲肌麻紙、墨、顔料、膠	作家蔵
15	Untitled No.2 B (NI)	1997年	200.0×140.0cm	パネル、雲肌麻紙、水、墨、アクリル、顔料、樹脂膠	作家蔵
16	Untitled	1998年	直径200.0cm	パネル、雲肌麻紙、水、墨、アクリル、顔料、樹脂膠	作家蔵
17	Untitled No.1	1998年	210.0×900.0cm	雲肌麻紙、水、墨、アクリル、顔料、樹脂膠	作家蔵
18	Water Works No.6	1999年	200.0×90.0cm	パネル、雲肌麻紙、水、墨、アクリル、顔料、樹脂膠	日立市郷土博物館
19	Water Works No.29	2000年	直径180.0cm	パネル、麻紙、水、墨、アクリル、顔料、樹脂膠	作家蔵
20	Kinesis No.209	2003年	96.3×39.0cm	軸装、麻紙、水、墨、アクリル、顔料、樹脂膠	練馬区立美術館
21	Kinesis No.211	2004年	160.0×460.0cm	パネル、麻紙、水、墨、アクリル、顔料、樹脂膠	茨城県近代美術館寄託
22	Kinesis No.215	2004年	直径200.0cm	パネル、麻紙、水、墨、アクリル、顔料、樹脂膠	茨城県近代美術館寄託
23	Kinesis No.286 (shadow)	2005年	120.0×180.0cm	パネル、ワトソン紙、水、墨	作家蔵
24	Kinesis No.294 (hydrometeor)	2006年	240.0×720.0cm	パネル、麻紙、水、墨、アクリル、顔料、樹脂膠	東京都現代美術館

No.	作品名	制作年	寸法	材質・形状	所蔵
25	Kinesis No.316 (hydrometeor)	2007年	各245.0×300.0cm	パネル、麻紙、水、墨、アクリル、顔料、樹脂膠(3点組)	個人蔵
26	Kinesis No.380 (Bakufu Un)	2009年	150.0×250.0cm	パネル、麻紙、水、墨、アクリル、顔料、樹脂膠	作家蔵
27	Kinesis No.413 (Black Wind)	2009年	60.0×700.0cm	三彩紙、水、墨	小杉放菴記念日光美術館
28	Kinesis No.445 (tornado)	2010年	270.0×680.0cm	パネル、麻紙、水、墨、アクリル、顔料、樹脂膠	作家蔵
29	Kinesis No.452 (bright water)	2011年	150.0×880.0cm	パネル、麻紙、水、墨、アクリル、顔料、樹脂膠	作家蔵
30	Kinesis No.478 (climbers eye)	2011年	250.0×直径115.0cm	木枠、麻紙、水、墨、アクリル、顔料、樹脂膠	作家蔵
31	Kinesis No.479 (divers eye)	2011年	250.0×直径115.0cm	木枠、麻紙、水、墨、アクリル、顔料、樹脂膠	作家蔵
32	Kinesis No.511 (requiem)	2012年	225.0×680.0cm	パネル、麻紙、水、墨、アクリル、顔料、樹脂膠	作家蔵
33	Kinesis No.523 (cosmic scape)	2013年	直径17.0cm	パネル、麻紙、水、墨、アクリル、顔料、樹脂膠	作家蔵
34	Kinesis No.524 (cosmic scape)	2013年	直径17.0cm	パネル、麻紙、水、墨、アクリル、顔料、樹脂膠	作家蔵
35	Kinesis No.526 (cosmic scape)	2013年	直径17.0cm	パネル、麻紙、水、墨、アクリル、顔料、樹脂膠	作家蔵
36	Kinesis No.530 (gold)	2013年	直径17.0cm	パネル、麻紙、水、墨、アクリル、顔料、金箔、樹脂膠	作家蔵
37	Kinesis No.532 (cosmic garden)	2013年	18.5×16.0×26.5cm	パネル、麻紙、水、墨、アクリル、顔料、樹脂膠	作家蔵
38	Kinesis No.534 (cosmic garden)	2013年	31.0×35.5×25.5cm	パネル、麻紙、水、墨、アクリル、顔料、樹脂膠	作家蔵
39	Kinesis No.548 (seamount)	2013年	194.5×796.0cm	鳥の子紙、水、墨、アクリル	作家蔵
40	Kinesis No.563 (water scape)	2013年	直径89.0cm	パネル、麻紙、水、墨、アクリル、顔料、樹脂膠	作家蔵
41	Kinesis No.564 (water scape)	2013年	直径89.0cm	パネル、麻紙、水、墨、アクリル、顔料、樹脂膠	作家蔵
42	Kinesis No.565 (water scape)	2013年	直径89.0cm	パネル、麻紙、水、墨、アクリル、顔料、樹脂膠	作家蔵
43	Kinesis No.566 (water scape)	2013年	直径89.0cm	パネル、麻紙、水、墨、アクリル、顔料、樹脂膠	作家蔵
44	Kinesis No.567 (water scape)	2013年	直径89.0cm	パネル、麻紙、水、墨、アクリル、顔料、樹脂膠	作家蔵
45	Kinesis No.573 (cosmic flow)	2013年	120.0×60.0×50.0cm	パネル、麻紙、水、墨、アクリル、顔料、樹脂膠	個人蔵
46	Kinesis No.574 (island)	2013年	120.0×60.0×50.0cm	パネル、麻紙、水、墨、アクリル、顔料、樹脂膠	個人蔵
47	Kinesis No.582 (gold)	2014年	直径30.0cm	パネル、麻紙、水、墨、アクリル、顔料、金箔、樹脂膠	作家蔵
48	Kinesis No.583 (gold)	2014年	直径36.0cm	パネル、麻紙、水、墨、アクリル、顔料、金箔、樹脂膠	作家蔵
49	Kinesis No.585 (gold)	2014年	直径28.0cm	パネル、麻紙、水、墨、アクリル、顔料、金箔、樹脂膠	作家蔵
50	Kinesis No.590 (water scape)	2014年	101.0×32.0cm	パネル、麻紙、水、墨、アクリル、顔料、樹脂膠	作家蔵
51	Kinesis No.591 (water scape)	2014年	25.0×15.0cm	パネル、麻紙、水、墨、アクリル、顔料、樹脂膠	作家蔵
52	Kinesis No.592 (water scape)	2014年	25.0×15.0cm	パネル、麻紙、水、墨、アクリル、顔料、樹脂膠	作家蔵
53	Kinesis No.595 (water scape)	2014年	24.0×60.0cm	パネル、麻紙、水、墨、アクリル、顔料、樹脂膠	作家蔵
54	Kinesis No.597 (water scape)	2014年	20.0×60.0cm	パネル、麻紙、水、墨、アクリル、顔料、樹脂膠	作家蔵

No.	作品名	制作年	寸法	材質・形状	所蔵
55	Kinesis No.599 (water scape)	2014年	34.0×24.0cm	パネル、麻紙、水、墨、アクリル、顔料、樹脂膠	作家蔵
56	Kinesis No.602 (water scape)	2014年	16.0×22.0cm	パネル、麻紙、水、墨、アクリル、顔料、樹脂膠	作家蔵
57	Kinesis No.604 (water scape)	2014年	28.0×28.0cm	パネル、麻紙、水、墨、アクリル、顔料、樹脂膠	作家蔵
58	Kinesis No.621 (seamount)	2014年	225.0×680.0cm	パネル、麻紙、水、墨、アクリル、顔料、樹脂膠	作家蔵
59	The view from my studio	2014年	各10.2×15.2cm	プリント	作家蔵
60	Kinesis No.650 (seamount)	2015年	220.0×580.0cm	パネル、麻紙、水、墨、アクリル、顔料、樹脂膠	作家蔵
61	Kinesis No.653 (colors)	2015年	25.0×63.0cm	パネル、麻紙、水、墨、アクリル、顔料、樹脂膠	個人蔵
62	Kinesis No.657 (colors)	2015年	30.0×42.5cm	パネル、麻紙、水、墨、アクリル、顔料、樹脂膠	個人蔵
63	Kinesis No.658 (colors)	2015年	55.0×17.5cm	パネル、麻紙、水、墨、アクリル、顔料、樹脂膠	個人蔵
64	Kinesis No.660 (colors)	2015年	20.5×20.5cm	パネル、麻紙、水、墨、アクリル、顔料、樹脂膠	個人蔵
65	Kinesis No.664 (seamount)	2015年	18.3×25.8cm	紙、水、墨、アクリル、顔料、樹脂膠	作家蔵
66	Kinesis No.697 (cosmic cuboid)	2017年	35.5×35.5×51.0cm	パネル、麻紙、水、墨、アクリル、顔料、樹脂膠	作家蔵
67	Kinesis No.699 (cosmic flow)	2017年	140.5×600.0cm	パネル、麻紙、水、墨、アクリル、顔料、樹脂膠	作家蔵
68	Kinesis No.702 (water scope)	2017年	直径190cm	パネル、麻紙、水、墨、アクリル、顔料、樹脂膠	大倉集古館
69	Kinesis No.705 (jackknife)	2017年	225.0×680.0cm	パネル、麻紙、水、墨、アクリル、顔料、樹脂膠	作家蔵
70	Kinesis No.709 (origin)	2017年	12.2×18.0cm	紙、水、墨、アクリル、顔料、樹脂膠	作家蔵
71	Kinesis No.715 (mount sea)	2018年	190.0×660.0cm	パネル、麻紙、水、墨、アクリル、顔料、樹脂膠	作家蔵
72	Kinesis No.716 (mount sea)	2018年	140.0×600.0cm	パネル、麻紙、水、墨、アクリル、顔料、樹脂膠	作家蔵
73	Kinesis No.719 (mount yun)	2018年	182.0×130.0cm	パネル、麻紙、水、墨、アクリル、顔料、樹脂膠	作家蔵
74	Kinesis No.720 (vortex)	2018年	182.0×130.0cm	パネル、麻紙、水、墨、アクリル、顔料、樹脂膠	作家蔵
75	Kinesis No.722 (blue)	2018年	41.0×180.0cm	パネル、麻紙、水、墨、アクリル、顔料、樹脂膠	個人蔵
76	Kinesis No.723 (top)	2018年	130.0×20.0cm	パネル、麻紙、水、墨、アクリル、顔料、樹脂膠	作家蔵
77	Kinesis No.724 (cube)	2018年	26.0×26.0×26.0cm	パネル、麻紙、水、墨、アクリル、顔料、樹脂膠	作家蔵
78	Kinesis No.732 (mirror hole)	2019年	60.0×80.0cm	パネル、麻紙、水、墨、アクリル、顔料、樹脂膠	作家蔵
79	Kinesis No.743 (dragon vein)	2021年	250.0×680.0cm	パネル、麻紙、水、墨、アクリル、顔料、樹脂膠	作家蔵
80	Kinesis No.744 (dragon vein)	2020年	209.0×195.0cm	鳥の子紙、水、墨	作家蔵
81	Kinesis No.745 (dragon vein)	2020年	209.0×195.0cm	鳥の子紙、水、墨	作家蔵
82	Kinesis No.746 (dragon vein)	2020年	209.0×195.0cm	鳥の子紙、水、墨	作家蔵
83	Kinesis No.749 (sansui)	2021年	220.0×180.0cm	パネル、麻紙、水、墨、アクリル、顔料、樹脂膠	作家蔵
84	Kinesis No.750 (dragon flow)	2021年	195.0×2170.0cm	鳥の子紙、水、墨	作家蔵

No.	作品名	制作年	寸法	材質・形状	所蔵
85	Kinesis No.762 (cosmic colors)	2022年	直径15.0cm	パネル、麻紙、水、墨、アクリル、顔料、樹脂膠	作家蔵
86	Kinesis No.763 (cosmic colors)	2022年	直径15.0cm	パネル、麻紙、水、墨、アクリル、顔料、樹脂膠	作家蔵
87	Kinesis No.765 (cosmic colors)	2022年	直径12.0cm	パネル、麻紙、水、墨、アクリル、顔料、樹脂膠	作家蔵
88	Kinesis No.766 (cosmic colors)	2022年	直径12.0cm	パネル、麻紙、水、墨、アクリル、顔料、樹脂膠	作家蔵
89	Kinesis No.767 (cosmic colors)	2022年	直径10.0cm	パネル、麻紙、水、墨、アクリル、顔料、樹脂膠	作家蔵
90	Kinesis No.768 (cosmic colors)	2022年	直径10.0cm	パネル、麻紙、水、墨、アクリル、顔料、樹脂膠	作家蔵
91	Kinesis No.770 (cosmic flow)	2023年	291.0×401.0cm	パネル、麻紙、水、墨、アクリル、顔料、樹脂膠	作家蔵
92	Kinesis No.775 (cosmic mirror)	2023年	直径180.0cm	パネル、麻紙、水、墨、顔料、銀箔、樹脂膠	作家蔵
93	Kinesis No.778 (cosmic island)	2023年	100.0×100.0×25.0cm	パネル、麻紙、水、墨、アクリル、顔料、樹脂膠	作家蔵
参考出品	小川 芋銭「<河童百図>因指月」	1937年	30.0×33.9cm	紙本・墨画・軸装	茨城県近代美術館
参考出品	小川 芋銭「湖上迷樹」	1928年	85.0×120.0cm	紙本・墨画・軸装	茨城県近代美術館
参考出品	小川 芋銭「黒龍」	1928年頃	23.5×52.0cm	紙本・墨画・軸装(扇面)	茨城県近代美術館

天心が託した国宝の未来
― 新納忠之介、仏像修理への道

●会期　2023(令和５)年12月９日(土)～
2024(令和６)年２月12日(月・振)
●主催　茨城県天心記念五浦美術館
●協力　公益財団法人ポーラ美術振興財団
●ポスター　B２
●チラシ　A４
●リーフレット　A５変形版／200×220㎜／12頁
●開催日数　54日間
●入場者数　9,319人
●観覧料　一般320(260)円／満70歳以上160(130)円／
高大生210(150)円／小中生150(100)円
※(　)内は20名以上の団体料金
●出品点数　全62点
●内容解説

新納(にいろ)忠之介(1869-1954)は、東京美術学校彫刻科で高村光雲に学び、優秀な成績で卒業しながらも、彫刻制作ではなく文化財の修理に生涯を捧げた人物である。仏像をはじめ多くの文化財の修理再生に携わり、岡倉天心が推し進めた文化財保護行政の一翼を担った。

当館では平成26年度に新納忠之介の遺族より、その旧蔵資料の寄贈を受け、４ヵ年にわたり整理作業を続けてきた。岡倉天心やラングドン・ウォーナーをはじめとする関係者からの書簡、仏像修理に関する調査記録、自身の肖像や交友ある人物たちとの写真など、その活躍の一端を物語る貴重な資料といえる。これら資料の中には、東大寺伎楽面模刻(東京藝術大学大学美術館蔵)と思われる写生が含まれており、正面や側面からの複数の写生をはじめ、一部には部位を詳細に計測した寸法を記した図が残されている。仏像の修理に向けた研究の一環としての取り組みと考えられ、新納が近代的な修理という未知の分野に臨む姿を感じ取ることができる。

この展覧会では、当館所蔵の新納忠之介旧蔵資料の中から、仏像修理に関する天心からの助言が記された書簡、修理や模刻のためと思われるスケッチや図面、さらにはこれら資料と関係する伎楽面の模刻や新納が模刻した国宝の仏像を通して、天心が目指した仏像修理に向けて歩みはじめた新納忠之介の姿を紹介した。

●担当　宮本夢花(学芸補助員)

●関連事業

講演会「天心に命を預けた彫刻家　新納忠之介」
　日時　１月13日(土)午後１時30分～　(約90分)
　講師　中田智則(茨城県近代美術館　企画課長)
展覧会担当によるギャラリートーク
　日時　１月20日(土)、２月４日(日)
　　各日午後１時30分～　(約30分)
　担当　宮本夢花(学芸補助員)
大笑い！五浦寄席
　日時　12月17日(日)
　　午前11時～／午後２時～　(約50分)
　出演　二松亭ちゃん平(社会人落語家)
　　相模亭とげ蔵(社会人落語家)
新春邦楽コンサート
　日時　１月６日(土)
　　午前11時～／午後２時～
　出演　長谷由香(箏)、助演：清原晏(十七弦)
茨城県警察音楽隊ふれあいコンサート
　日時　２月３日(土)
　　第１部　午前11時～／第２部　午前11時35分～
　出演　茨城県警察音楽隊、北茨城市立磯原中学校吹奏楽部(第１部のみ)

●関連記事

・宮本夢花＜いづらだより＞24「仏像を後生に残す技」　12月３日【東京新聞】
・「文化財をつないだ新納展　天心記念五浦美術館で９日～」　12月７日【よみうりタウンニュース】
・「新納忠之介　仏像修理の道　平安秘仏の模刻像　茨城県五浦美術館　北茨城」　12月10日【茨城新聞】
・「仏像修理　新納忠之介の生涯　北茨城で企画展」　12月10日【東京新聞】
・「仏像修復にささげた生涯　県五浦美術館　新納忠之介の業績紹介」　令和６年１月11日【茨城新聞】
・「引き継がれる仏像修理法」　１月13日【産経新聞】
・宮本夢花「天心が託した国宝の未来　県天心記念五浦美術館企画展(上)初の古社寺修理に参加」　１月13日【茨城新聞】
・宮本夢花「天心が託した国宝の未来　県天心記念五浦美術館企画展(中)仏像復元模刻デビュー」　１月14日【茨城新聞】
・宮本夢花「天心が託した国宝の未来　県天心記念五浦美術館企画展(下)芸術家の一面にも注目」　１月15日【茨城新聞】

ポスター　B2

チラシ　A4

リーフレット

出品作品一覧

第１章：東京美術学校時代

No.	作者名	資料名・作品名	制作年	材質・技法・形状	寸法(縦×横)cm	所蔵
1	白川 一郎	新納忠之介肖像	大正７-昭和29(1932-1954)年頃	板・油彩・額装	45.6×38.0	当館(新納義雄氏寄贈)
2	新納 忠之介	新納惣吉肖像レリーフ	制作年不詳	ブロンズ	直径41.0	当館(新納義雄氏寄贈)
3	高村 光雲	「日本木彫の技術」木寄法第参図	大正15(1926)年	紙・青焼き	50.5×78.7	当館(新納義雄氏寄贈)
4	新納 忠之介	スケッチ帳(課題画)	明治23(1890)年頃	紙・鉛筆・墨	20.8×16.9	当館(新納義雄氏寄贈)
5	新納 忠之介	東京美術学校課題画(新案)	明治23(1890)年	紙本・墨画	33.2×24.5	当館
6	作者不詳	東大寺伎楽面模刻(酔胡従)	明治23(1890)年	キリ材・彩色	縦36.0	東京藝術大学
7	新納 忠之介	東大寺伎楽面写生(酔胡従)	明治23-31(1890-1898)年頃	紙・墨・彩色	39.1×23.5	当館(新納義雄氏寄贈)
8	新納 忠之介	東大寺伎楽面写生(酔胡従)	明治23-31(1890-1898)年頃	紙・墨・彩色	27.6×36.5	当館(新納義雄氏寄贈)
9	作者不詳	東大寺伎楽面模刻(力士)	明治23(1890)年	ヒノキ材・彩色	縦46.0	東京藝術大学
10	新納 忠之介	東大寺伎楽面写生(力士)	明治23-31(1890-1898)年頃	紙・墨・彩色	27.6×35.5	当館(新納義雄氏寄贈)
11	新納 忠之介	東大寺伎楽面写生(力士)	明治23-31(1890-1898)年頃	紙・墨	27.3×35.5	当館(新納義雄氏寄贈)
12	新納 忠之介	東大寺伎楽面写生(力士)	明治23-31(1890-1898)年頃	紙・墨	40.2×23.7	当館(新納義雄氏寄贈)
13	作者不詳	東大寺伎楽面模刻(力士)	明治25(1892)年	ヒノキ材・彩色	縦44.0	東京藝術大学
14	新納 忠之介	東大寺伎楽面写生(力士)	明治25-31(1892-1898)年頃	紙・彩色	39.2×46.0	当館(新納義雄氏寄贈)
15	新納 忠之介	東大寺伎楽面写生(力士)	明治25-31(1892-1898)年頃	紙・墨	27.7×37.2	当館(新納義雄氏寄贈)
16	作者不詳	東大寺伎楽面模刻(崑崙)	明治25(1892)年	ヒノキ材・彩色	縦39.0	東京藝術大学
17	新納 忠之介	東大寺伎楽面写生(崑崙)	明治25-31(1892-1898)年頃	紙・彩色	39.2×52.0	当館(新納義雄氏寄贈)
18	新納 忠之介	東大寺伎楽面写生(崑崙)	明治25-31(1892-1898)年頃	紙・墨	27.7×38.0	当館(新納義雄氏寄贈)
19	新納 忠之介	東大寺伎楽面写生(崑崙)	明治25-31(1892-1898)年頃	紙・墨	28.0×37.5	当館(新納義雄氏寄贈)
20	飯島 成蹊	東大寺伎楽面模刻(酔胡従)	明治29(1896)年	キリ材・彩色	縦31.0	東京藝術大学
21	新納 忠之介	東大寺伎楽面写生(酔胡従)	明治29-31(1896-1898)年頃	紙・墨・彩色	39.6×27.8	当館(新納義雄氏寄贈)
22	作者不詳	東大寺伎楽面模刻(酔胡従)	明治29(1896)年	キリ材・彩色	縦31.3	東京藝術大学
23	新納 忠之介	東大寺伎楽面写生(酔胡従)	明治29-31(1896-1898)年頃	紙・墨・彩色	40.0×24.2	当館(新納義雄氏寄贈)
24	新納 忠之介	東大寺伎楽面写生(酔胡従)	明治29-31(1896-1898)年頃	紙・墨・彩色	40.0×25.5	当館(新納義雄氏寄贈)
25		楠公銅像原型制作関係者	明治27(1894)年	プリント・台紙	29.4×24.4	当館(新納義雄氏寄贈)

No.	作者名	資料名・作品名	制作年	材質・技法・形状	寸法(縦×横)cm	所蔵
26	新納 忠之介	寿老人額	明治27(1894)年	木彫	109.0×76.0	当館(新納義雄氏寄贈)
27	東京美術学校校友会	褒状　新納忠之介宛	明治27(1894)年	紙・墨	31.0×43.2	当館(新納義雄氏寄贈)
28	東京美術学校	卒業証　新納忠之介宛	明治27(1894)年	紙・墨・木版・金箔	41.5×55.5	当館(新納義雄氏寄贈)
29	小川 一眞	東京美術学校第2回生卒業写真	明治27(1894)年	紙・印刷	36.7×45.0	当館(新納義雄氏寄贈)
30	東京美術学校	優等証・新納忠之介宛	明治28(1895)年	紙・墨・彩色	43.0×56.5	当館(新納義雄氏寄贈)
31	文部省	文部省辞令・新納忠之介宛	明治28(1895)年	紙・墨	22.8×30.9	当館(新納義雄氏寄贈)

第2章：岡倉天心に従って―日本美術院時代

No.	作者名	資料名・作品名	制作年	材質・技法・形状	寸法(縦×横)cm	所蔵
32	臨時全国宝物取調局	全国宝物取調書	明治30(1897)年	紙・墨	28.0×20.0	当館
33	新納 忠之介	一字金輪坐像(模造)	明治30(1897)年	木造・彩色	総高124.8 像高76.8	東京国立博物館
34	岡倉 天心 水木 要太郎	葉書・新納忠之介宛	明治42-大正2年 (1909-1913)	紙・印刷・墨	9.0×14.0	当館(新納義雄氏寄贈)
35	文部省	文部省辞令・新納忠之介宛	明治31(1898)年	紙・墨	22.8×30.7	当館(新納義雄氏寄贈)
36	新納 忠之介	スケッチ帳 (和歌山県内風景、仏像等)	明治31(1898)年頃	紙・鉛筆、墨	20.2×16.4	当館(新納義雄氏寄贈)
37	新納 忠之介	ノート(調査記録・静岡、神奈川)	明治32(1899)年頃	紙・鉛筆・墨・色鉛筆	21.1×16.7	当館(新納義雄氏寄贈)
38	内務省	内務省辞令・新納忠之介宛	明治32(1899)年	紙・墨	27.9×19.9	当館(新納義雄氏寄贈)
39	日本美術院第一部	葉書・日本美術院第二部宛	明治39(1906)年	紙・墨・印刷	14.0×9.1	当館(新納義雄氏寄贈)
40	北村 太一	日本美術院第二部発足記念職員集合写真	明治39(1906)年	プリント・台紙	32.2×25.5	当館(新納義雄氏寄贈)
41		熊野速玉大社での集合写真	明治41(1908)年	プリント・台紙	24.0×30.0	当館(新納義雄氏寄贈)
42	EASTMAN KODAK社	カメラ(No 3 Folding Hawk-Eye Model 5)			縦12.0　幅20.8 奥行15.7(撮影時)、5.0(レンズ収納時)	当館(新納義雄氏寄贈)
43		ボストン美術館修理所の新納忠之介	明治42-43年 (1909-1910)	プリント	10.2×7.8	当館(新納義雄氏寄贈)
44	岡倉 天心	書簡・新納忠之介宛	明治44(1911)年 9月17日	紙・墨・軸装	17.4×43.0	当館(新納義雄氏寄贈)
45	新納 忠之介	春日巫女	明治39-大正3 (1906-1914)年頃	陶器・彩色	高さ21.0	茨城大学五浦美術文化研究所
46	新納 忠之介	法隆寺五重塔内「羅漢像」模刻	明治39-大正3 (1906-1914)年頃	陶器・彩色	高さ20.8	茨城大学五浦美術文化研究所

第3章：託された国宝の未来―美術院を背負って

No.	作者名	資料名・作品名	制作年	材質・技法・形状	寸法(縦×横)cm	所蔵
47	新納 忠之介	写生画巻	制作年不詳	紙・墨・巻子	27.5×703.7	当館(新納義雄氏寄贈)
48		美術院規定	大正3(1914)年	紙・カーボン・罫紙	23.1×32.5	当館(新納義雄氏寄贈)
49	新納 忠之介	スケッチ帳(法隆寺、東大寺ほか)	大正3(1914)年	紙・鉛筆・彩色	18.5×29.0	当館(新納義雄氏寄贈)
50	新納 忠之介	ノート(調査記録・浄瑠璃寺ほか)	大正5-9 (1916-1920)年頃	紙・鉛筆	20.7×16.4	当館(新納義雄氏寄贈)
51	新納 忠之介	ノート(文化財調査メモ、写生等)	大正7-8 (1918-1919)年頃	紙・鉛筆・色鉛筆・墨・インク	10.6×16.4	当館(新納義雄氏寄贈)
52	新納 忠之介	スケッチ帳(調査記録・奈良、京都)	大正期	紙・鉛筆・彩色	13.6×18.8	当館(新納義雄氏寄贈)
53		修理図(木寄寸法書)本門寺木造日蓮聖人坐像	昭和4(1929)年	紙・カーボン・インク・こより綴じ	各39.5×26.3	当館(新納義雄氏寄贈)
54		百済観音図解及寸法書	昭和7(1932)年	紙・墨・カーボン・インク	各37.7×27.3	当館(新納義雄氏寄贈)
55	東大寺	南都袈裟贈呈目録	昭和10(1935)年	紙・墨	19.4×26.2	当館(新納義雄氏寄贈)

No.	作者名	資料名・作品名	制作年	材質・技法・形状	寸法(縦×横)cm	所蔵
56		修理図解　東大寺二月堂十一面観音立像	昭和10-24(1935-1949)年頃	紙・カーボン	各40.5×28.3	当館(新納義雄氏寄贈)
57	東大寺	南都袈裟(東大寺拝領)	昭和10(1935)年	絹	幅12.5	当館(新納義雄氏寄贈)
58		奈良美術院国宝修理工場規程	昭和13(1938)年	紙・印刷	26.0×36.2	当館(新納義雄氏寄贈)

【コラム】文化財を守った師弟愛～新納忠之介とラングドン・ウォーナー～

No.	作者名	資料名・作品名	制作年	材質・技法・形状	寸法(縦×横)cm	所蔵
59		フォッグ美術館における法隆寺金堂壁画複製陳列写真	昭和24(1949)年	プリント	19.3×24.3	当館(新納義雄氏寄贈)
60	ラングドン・ウォーナー	書簡・新納忠之介宛	昭和24(1949)年2月6日	紙・タイプ・印刷・用箋	20.0×13.3	当館(新納義雄氏寄贈)
61	ラングドン・ウォーナー	『THE ENDURING ART OF JAPAN』(ハーヴァード大学出版)	昭和27(1952)年	書籍	24.2×15.7	当館(新納義雄氏寄贈)
62	ラングドン・ウォーナー/ロレーヌ・ド・ウォーナー/寿岳文章(訳)	『推古彫刻』(みすず書房)	昭和33(1958)年	書籍	21.6×15.4	当館

水底（みなぞこ）に群れ、水面（みなも）に集う

●会期　2024（令和６）年２月17日（土）～４月14日（日）
●主催　茨城県天心記念五浦美術館
●ポスター　Ｂ２
●チラシ　Ａ４
●リーフレット　Ａ５変形版／210×230㎜／12頁
●開催日数　50日間（令和５年度は38日間）
●入場者数　5,263人（令和５年度中のみ）
●観覧料　一般320（260）円／満70歳以上160（130）円／高大生210（150）円／小中生150（100）円
※（　）内は20名以上の団体料金
※２月17日（土）は満70歳以上の方は無料
●出品点数　全24点
●内容解説

近年、世界各国で猛暑が記録され、これまでにない自然災害が頻発するなど、地球環境の変化は人類共通の問題となっている。そして、生物学者からは地球史上６回目となる生物の大量絶滅期が始まっているとの研究が報告されるなど、人間を含めた多くの生物が環境変化の影響を受け、生態系は変化し続けている。

当館では、ほとんどの生命にとってとりわけ重要な水辺の自然環境、そして水棲生物へ注がれる画家たちの眼差しをたどる展覧会を開催した。

日本美術において、鯉や金魚など飼育鑑賞されてきた身近な魚類、あるいは目にする機会の多い水鳥などについては、古くから画題としてとりあげられてきた歴史があるが、多様な水棲生物が描かれるのはほぼ明治以降のことと言える。近代の画家たちは身近な生物たちに加え、水族館の実現、また写真や映像技術の発達による新しい視覚体験を基盤に、様々な生物を新たに画題として描いてきた。

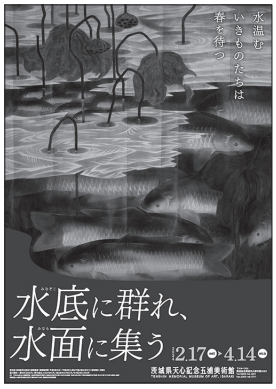
本展では、近代以降の絵画モチーフとして、魚、水棲生物、水鳥などを描いた作品を紹介した。

●担当　木澤沙羅（学芸員）
●関連事業

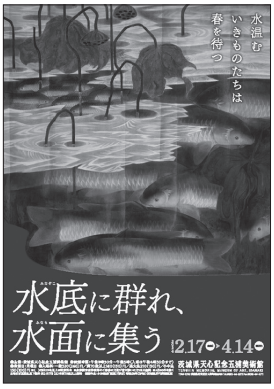
オープンワークショップ
「水辺の生き物で美術館を飾ろう」
　会場　展望ギャラリー
日本画体験実技講座
　「自作の屏風にゆるふわ動物を描いてみよう」
　日時　２月17日（土）～18日（日）
　　両日とも午前10時～午後４時
　講師　染谷香理氏（日本美術院特待）
展覧会担当によるギャラリートーク
　日時　２月25日（日）　午後１時20分～
　担当　木澤沙羅（学芸員）
ワークショップ　「水辺の生き物を描こう」
　日時　３月９日（土）　午前10時～、午後１時30分～
アーティストトーク
　日時　３月30日（土）　午後１時20分～
　講師　松岡 歩氏（日本美術院特待）

●関連記事

・「水生生物の日本画並ぶ」　３月１日【福島民報】
・木澤沙羅＜いづらだより＞27「画家が愛した水棲生物」　３月３日【東京新聞】
・「水棲生物に特別なまなざし」３月23日【産経新聞】



ポスター　B2



チラシ　A4

リーフレット

出品作品一覧

第１章：水面に集う

No.	作者名	作品名	制作年	材質・形状	寸法(縦×横)cm	所蔵
1	下村 観山	雨中鷺	明治41(1908)年頃	紙本・墨画・軸装	70×121.3	茨城県近代美術館
2	木村 武山	鷺図	大正3-4(1914-1915)年	絹本・彩色・軸装	124×41	個人蔵
3	横山 大観	秋	明治32(1899)年頃	紙本・彩色・額装	84×78	茨城県近代美術館 (小野里茂氏寄贈)
4	堅山 南風	雨後	昭和13(1938)年	絹本・墨画淡彩・額装	118×133	茨城県近代美術館 (堅山壽子氏寄贈)
5	小林 巣居人	鮎	昭和24(1949)年	絹本・彩色・額装	84.6×57.6	茨城県近代美術館 (篠目篤氏寄贈)
6	小林 恒岳	蓮池(雲流れる)	昭和50(1975)年	紙本・彩色・額装	180×210	茨城県近代美術館 (作者寄贈)
7	西村 昭二郎	夕風・夏柳	昭和52、53年 (1977、1978)	紙本・彩色・屏風装 (四曲一双)	各167×227	茨城県近代美術館 (西村淑子氏寄贈)
8	那波多目 功一	憩う	平成５(1993)年	紙本・彩色・額装	184×217.5	個人蔵

第２章：芋銭の水魅山妖

No.	作者名	作品名	制作年	材質・形状	寸法(縦×横)cm	所蔵
9	小川 芋銭	河伯	昭和６(1931)年	紙本・墨画・軸装	35.5×43.5	茨城県近代美術館
10	小川 芋銭	水魅戯	大正12(1923)年	紙本・淡彩・軸装	62.4×95.2	茨城県近代美術館
11	小川 芋銭	祭魚	昭和７(1932)年頃	紙本・墨画・軸装	43×52.3	茨城県近代美術館
12	小川 芋銭	魚雨	昭和７(1932)年頃	紙本・淡彩・軸装	44×56	茨城県近代美術館
13	小川 芋銭	芭蕉句意 居守	昭和12(1937)年	紙本・淡彩・軸装	45×53.5	茨城県近代美術館
14	小川 芋銭	〈河童百図〉 カッパ虫	昭和12(1937)年	紙本・淡彩・軸装・扇面	33.9×64	茨城県近代美術館
15	小川 芋銭	〈河童百図〉 岩になったカッパ	昭和12(1937)年	紙本・墨画・軸装	59.9×60	茨城県近代美術館

第３章：水底に群れる

No.	作者名	作品名	制作年	材質・形状	寸法(縦×横)cm	所蔵
16	小林 恒岳	越寒	昭和58(1983)年	紙本・彩色・額装	162.1×130.3	茨城県近代美術館 (作者寄贈)
17	木村 武山	鰻のぼり	昭和15(1940)年頃	絹本・墨画淡彩・軸装	109.8×27.2	個人蔵
18	小茂田 青樹	鮒	大正12(1923)年頃	絹本・彩色・軸装	25.0×32.3	茨城県近代美術館
19	齋藤 彰男	悠	平成17(2005)年	紙本・彩色・額装	212×166	茨城県近代美術館 (作者寄贈)
20	木下 千春	渦巻く	令和元(2019)年	紙本・彩色・額装	180×220	茨城県近代美術館 (作者寄贈)
21	木下 千春	夜行	令和２(2020)年	紙本・彩色・パネル	170×210	作家蔵
22	木下 千春	間	令和５(2023)年	紙本・彩色・パネル	170×210	作家蔵
23	松岡 歩	群生	平成26(2014)年	紙本・彩色・額装	170×215	茨城県近代美術館 (作者寄贈)
24	松岡 歩	印旛沼月下図 屏風	令和６(2024)年	紙本・彩色・屏風 (六曲一隻)	145×312.8	作家蔵

2　岡倉天心記念室

●概要　岡倉天心記念室では、多方面にわたる岡倉天心の生涯や業績を書簡や遺品など貴重な資料によって紹介するほか、天心の指導を受けて近代日本美術の発展に大きく貢献した五浦の作家たちについて、茨城県近代美術館が所蔵する作品を中心に紹介した。また、天心及び五浦に関わりのあるテーマに関して調査・研究した内容を、収蔵資料や解説パネルにより紹介した。

（1）五浦の作家たちの作品展示

●令和５年度第１回展示

2023（令和５）年５月16日（火）～７月９日（日）

作者名	資料名	制作年	所蔵ほか
導入			
新海 竹蔵	岡倉天心肖像	昭和17年	茨城県近代美術館
	崑崙釜	明治37－大正２年頃	国立大学法人茨城大学
	棗		国立大学法人茨城大学
	茶杓		国立大学法人茨城大学
平櫛 田中	鶴氅	昭和40年	個人（寄託）
荒井 経	旧岡倉天心邸書斎復元障壁画	令和３年	当館
岡倉 天心	羽織［天心着用］	明治37－大正２年頃	複製（原資料：国立大学法人茨城大学）
岡倉 天心	漢詩「五浦即事」	明治36－大正２年頃	個人（寄託）
① 生い立ちと修業時代			
	横浜開港見聞誌	文久２年	当館
	文部省辞令（明治14年11月１日）	明治14年	国立大学法人茨城大学
	文部省辞令（明治14年11月４日）	明治14年	国立大学法人茨城大学
② 美術行政への参画と古美術の保存			
岡倉 天心	書簡・森田思軒宛（明治23年頃５月12日）	明治23年頃	個人（寄託）
	盃	明治25年頃	個人（寄託）
下村 晴三郎（観山）	写生（小枝）［東京美術学校授業課題画］	明治22－27年頃	当館
本多 佑輔（天城）	写生（蕪）［東京美術学校授業課題画］	明治22－26年頃	当館
	東京美術学校校服［木村武山着用］	明治24－29年頃	複製（原資料：国立大学法人茨城大学）
	東京美術学校制帽［下村観山着用］	明治22－27年頃	複製（原資料：国立大学法人茨城大学）
③ 理想の実現に向けて 日本美術院の創立			
	『日本美術』（第１号明治31年10月）	明治31年	当館
横山 大観	天心先生作日本美術院院歌「谷中鶯」	昭和14年	複製（原資料：日本美術院）
④ 東洋の美と心を世界に 国際人“KAKUZO”			
岡倉 天心	近世画家系図ノート	不詳	当館
岡倉 天心	『Modern Problems in Painting（絵画における近代の問題）』（草稿）	明治37年	個人（寄託）
ボストン美術館	中国日本美術部キュレーター承認通知	明治43年	当館
岡倉 天心	浮世絵概説	明治38年	当館
⑤ 新たなる飛躍の地“五浦” 日本美術院の移転			
下村 観山	帰猟の図	明治37年	個人（寄託）
菱田 春草	帰漁	明治37年	茨城県近代美術館
岡倉 天心	海辺の松	明治37年	個人（寄託）
岡倉 天心	竹の図	明治37年	個人（寄託）
岡倉 天心	驢馬と人物	明治37年	個人（寄託）
	龍王丸		複製（原資料：国立大学法人茨城大学）星野洋三氏製作寄贈
⑥ 日本美術院の五浦時代と仲秋観月会			
岡倉 天心	書簡・矢部清助、河合寅次宛（明治39年６月13日）	明治39年	当館

作者名	資料名	制作年	所蔵ほか
牧野 伸顕	書簡・岡倉天心宛(明治40年６月25日)	明治40年	個人(寄託)
渡辺 鼓堂	「五浦の月」[『いはらき新聞』記事] (明治40年 ９ 月26日)	明治40年	複製(原資料：当館)
⑦ 晩年の天心 再興日本美術院			
ロジャー・E・フライ	書簡・岡倉天心宛(明治44年２月14日)	明治44年	当館
ロジャー・E・フライ	書簡・岡倉天心宛(大正元年９月21日)	大正元年	当館
プリヤンバダ・デーヴィ・バネルジー	書簡・岡倉天心宛(大正２年７月９日)	大正２年	当館
プリヤンバダ・デーヴィ・バネルジー	書簡・岡倉天心宛(大正２年７月15日)	大正２年	当館
⑧ テーマ展示			
木村 武山、下村観山、菱田 春草、横山 大観	書簡・齋藤隆三宛(明治40年１月15日)	明治40年	当館(齋藤隆三遺品)
⑨ 創作者天心			
＜英文著作 ３ 部作＞			
岡倉 天心	『The Ideals of the East(東洋の理想)』[初版] (ロンドン、ジョン・マレー社)	明治36年	当館
岡倉 天心	『The Awakening of Japan(日本の覚醒)』 (ニュー・ヨーク、センチュリー社)	明治37年	当館
岡倉 天心	『The Book of Tea (茶の本)』[初版] (ニュー・ヨーク、フォクス・ダフィールド社)	明治39年	当館
＜詩作と研究＞			
岡倉 天心	「ATAKA(安宅)」(タイプ稿)	明治37年頃	国立大学法人茨城大学
岡倉 天心	「KO ATSUMORI(小敦盛)」(タイプ稿)	明治37年頃	国立大学法人茨城大学
岡倉 天心	「The White Fox(白狐)」(タイプ稿)	大正２年	当館
＜遺愛品＞			
	端溪荷葉硯[天心所用]	明治37－大正２年頃	国立大学法人茨城大学
	水盂および匙[遺愛品]		国立大学法人茨城大学
	筆立て[遺愛品]		国立大学法人茨城大学
	風呂敷[天心所用]		複製(原資料：国立大学法人茨城大学)
＜天心ゆかりの人物＞			
故フェノロサ氏故ビゲロー氏追福会	故フェノロサ氏故ビゲロー氏追福会案内状・大西庄之丞宛	昭和３年	当館(松竹京子氏寄贈)

●令和５年度第２回展示

2023(令和５)年７月11日(火)～９月10日(日)

作者名	資料名	制作年	所蔵ほか
導入			
新海 竹蔵	岡倉天心肖像	昭和17年	茨城県近代美術館
	崑崙釜	明治37－大正２年頃	国立大学法人茨城大学
	棗		国立大学法人茨城大学
	茶杓		国立大学法人茨城大学
平櫛 田中	鶴氅	昭和40年	個人(寄託)
荒井 経	旧岡倉天心邸書斎復元障壁画	令和３年	当館
岡倉 天心	羽織[天心着用]	明治37－大正２年頃	複製(原資料：国立大学法人茨城大学)
岡倉 天心	漢詩「五浦即事」	明治36－大正２年頃	個人(寄託)
① 生い立ちと修業時代			
	横浜開港見聞誌	文久２年	当館
	文部省辞令(明治15年 ６ 月26日)	明治15年	国立大学法人茨城大学
	文部省辞令(明治15年 ６ 月26日)	明治15年	国立大学法人茨城大学
② 美術行政への参画と古美術の保存			

作者名	資料名	制作年	所蔵ほか
岡倉 天心	書簡・黒川真頼宛(明治21年10月16日)	明治21年	当館
臨時全国宝物取調局	全国宝物取調書	明治30年	当館
菱田 三男治(春草)	写生(くわい)［東京美術学校授業課題画］	明治24年	当館
岡倉 覚平(秋水)	写生(小枝)［東京美術学校授業課題画］	明治22－23年頃	当館
	東京美術学校校服[木村武山着用]	明治24－29年頃	複製(原資料：国立大学法人茨城大学)
	東京美術学校制帽[下村観山着用]	明治22－27年頃	複製(原資料：国立大学法人茨城大学)
③ 理想の実現に向けて 日本美術院の創立			
	『日本美術』(第 1 号明治31年10月)	明治31年	当館
横山 大観	天心先生作日本美術院院歌「谷中鶯」	昭和14年	複製(原資料：日本美術院)
④ 東洋の美と心を世界に 国際人“KAKUZO”			
岡倉 天心	近世画家系図ノート	不詳	当館
岡倉 天心	『Modern Problems in Painting (絵画における近代の問題)』(草稿)	明治37年	個人(寄託)
モンゴメリー・フロスト社	岡倉天心の視力検査結果票	大正元年	当館(岡倉俊彦氏寄贈)
岡倉 天心	浮世絵概説	明治38年	当館
⑤ 新たなる飛躍の地“五浦” 日本美術院の移転			
横山 大観	樹下美人	明治45年頃	茨城県近代美術館
横山 大観	帰路	明治42－44年頃	茨城県近代美術館(結城四郎氏寄贈)
下村 観山	納涼図	明治42年頃	茨城県近代美術館
菱田 春草	五浦ノ月	明治40－41年頃	茨城県近代美術館
木村 武山	五浦の朝	明治39－40年頃	茨城県近代美術館
	龍王丸		複製(原資料：国立大学法人茨城大学) 星野洋三氏製作寄贈
⑥ 日本美術院の五浦時代と仲秋観月会			
岡倉 天心	書簡・矢部清助、河合寅次宛 (明治39年 6 月13日)	明治39年	当館
横山 大観、下村観山、菱田 春草、木村 武山	仲秋観月園遊会招待状・大橋雅彦 (明治40年 9 月14日)	明治40年	当館
渡辺 鼓堂	「五浦の月」[『いはらき新聞』記事] (明治40年 9 月26日)	明治40年	複製(原資料：当館)
⑦ 晩年の天心 再興日本美術院			
岡倉 天心	書簡・橋本秀邦宛(明治41年 2 月 1 日)	明治41年	個人(寄託)
岡倉 天心	書簡・岡倉由三郎宛(大正 2 年 3 月 6 日)	大正 2 年	当館
プリヤンバダ・デーヴィ・バネルジー	書簡・岡倉天心宛(大正 2 年 7 月27日)	大正 2 年	当館
プリヤンバダ・デーヴィ・バネルジー	書簡・岡倉天心宛(大正 2 年 8 月 5 日)	大正 2 年	当館
⑧ テーマ展示			
木村 武山、下村観山、菱田 春草、横山 大観	書簡・齋藤隆三宛(明治40年 1 月15日)	明治40年	当館(齋藤隆三遺品)
⑨ 創作者天心			
＜英文著作 3 部作＞			
岡倉 天心 (浅野 晃 訳)	『東洋の理想』(創元社)	昭和13年	当館
岡倉 天心	『The Awakening of Japan(日本の覚醒)』 (ニュー・ヨーク、センチュリー社)	明治37年	当館
岡倉 天心	『The Book of Tea(茶の本)』[初版] (ニュー・ヨーク、フォクス・ダフィールド社)	明治39年	当館
＜詩作と研究＞			
岡倉 天心	「ATAKA(安宅)」(タイプ稿)	明治37年頃	国立大学法人茨城大学
岡倉 天心	「KO ATSUMORI(小敦盛)」(タイプ稿)	明治37年頃	国立大学法人茨城大学
岡倉 天心	「The White Fox(白狐)」(タイプ稿)	大正 2 年	当館

作者名	資料名	制作年	所蔵ほか
＜遺愛品＞			
	端溪荷葉硯[天心所用]	明治37－大正２年頃	国立大学法人茨城大学
	水盂および匙[遺愛品]	明治37－大正２年頃	国立大学法人茨城大学
	筆立て[遺愛品]		国立大学法人茨城大学
	風呂敷[天心所用]		複製(原資料：国立大学法人茨城大学)
＜天心ゆかりの人物＞　イザベラ・S・ガードナー			
イザベラ・S・ガードナー	書簡・岡倉天心宛(大正２年３月18日)	大正２年	当館(岡倉俊彦氏寄贈)
イザベラ・S・ガードナー	書簡・岡倉天心宛(大正２年４月７日)	大正２年	当館

●令和５年度第３回展示

2023(令和５)年９月12日(火)～11月５日(日)

作者名	資料名	制作年	所蔵ほか
導入			
新海 竹蔵	岡倉天心肖像	昭和17年	茨城県近代美術館
	崑崙釜	明治37－大正２年頃	国立大学法人茨城大学
	棗		国立大学法人茨城大学
	茶杓		国立大学法人茨城大学
平櫛 田中	鶴氅	昭和40年	個人(寄託)
荒井 経	旧岡倉天心邸書斎復元障壁画	令和３年	当館
岡倉 天心	羽織[天心着用]	明治37－大正２年頃	複製(原資料：国立大学法人茨城大学)
間島 秀徳	Kinesis No.722(blue)	平成30年	個人
間島 秀徳	Kinesis No.723(top)	平成30年	作家
① 生い立ちと修業時代			
	横浜開港見聞誌	文久２年	当館
	文部省辞令(明治15年９月６日)	明治15年	国立大学法人茨城大学
	文部省辞令(明治17年２月８日)	明治17年	国立大学法人茨城大学
② 美術行政への参画と古美術の保存			
岡倉 天心	書簡・黒川真頼宛(明治21年10月16日)	明治21年	当館
臨時全国宝物取調局	全国宝物取調書	明治30年	当館
下村 晴三郎(観山)	写生(蕪)［東京美術学校授業課題画］(紙本・墨画)	明治22－27年頃	当館
岡倉 覚平(秋水)	写生(松枝)［東京美術学校授業課題画］	明治22－23年頃	当館
	東京美術学校校服[木村武山着用]	明治24－29年頃	複製(原資料：国立大学法人茨城大学)
	東京美術学校制帽[下村観山着用]	明治22－27年頃	複製(原資料：国立大学法人茨城大学)
③ 理想の実現に向けて 日本美術院の創立			
	『日本美術』(第１号明治31年10月)	明治31年	当館
横山 大観	天心先生作日本美術院院歌「谷中鶯」	昭和14年	複製(原資料：日本美術院)
④ 東洋の美と心を世界に 国際人“KAKUZO”			
岡倉 天心	近世画家系図ノート	不詳	当館
岡倉 天心	『Modern Problems in Painting（絵画における近代の問題)』(草稿)	明治37年	個人(寄託)
岡倉 天心	葉書・岡倉韓一宛	明治41年	当館
岡倉 天心	浮世絵概説	明治38年	当館
⑤ 新たなる飛躍の地“五浦” 日本美術院の移転			
横山 大観	飛泉	明治35年	茨城県近代美術館
菱田 春草	秋溪	明治35年	茨城県近代美術館
横山 大観	月明	昭和６年頃	茨城県近代美術館
木村 武山	晩秋月夜	大正９－10年頃	個人(寄託)

作者名	資料名	制作年	所蔵ほか
木村 武山	雨中の柿	大正９－10年頃	個人(寄託)
	龍王丸		複製(原資料：国立大学法人茨城大学) 星野洋三氏製作寄贈
⑥ 日本美術院の五浦時代と仲秋観月会			
横山 大観	岡倉天心書斎障壁画下図	明治40年頃	個人(寄託)
横山 大観、下村観山、菱田 春草、木村 武山	仲秋観月園遊会招待状・大橋雅彦 (明治40年９月14日)	明治40年	当館
渡辺 鼓堂	「五浦の月」[『いはらき新聞』記事] (明治40年９月26日)	明治40年	複製(原資料：当館)
⑦ 晩年の天心 再興日本美術院			
岡倉 天心	書簡・早崎梗吉宛(明治44年６月21日)	明治44年	当館
岡倉 天心	書簡・九鬼隆一宛(大正２年８月１日)	大正２年	当館
プリヤンバダ・デーヴィ・バネルジー	書簡・岡倉天心宛(年月日不詳)	不詳	当館
プリヤンバダ・デーヴィ・バネルジー	書簡・岡倉天心宛(年月日不詳)	不詳	当館
⑧ テーマ展示			
	写真アルバム「高村光雲関連写真帳」	不詳	当館(小林育子氏寄贈)
岡倉 天心	“Le livre du Thé”(『茶の本』フランス語版) (アンドレ・デルブック(パリ)発行)	1927年	当館
岡倉 天心	“EL LlBRO DEL TE”(『茶の本』スペイン語版) (モンタネル・イ・シモン(バルセロナ)発行	1946年	当館
⑨ 創作者天心			
＜英文著作３部作＞			
岡倉 天心	『The Ideals of the East(東洋の理想)』[初版] (ロンドン、ジョン・マレー社)	明治36年	当館
岡倉 天心	『The Awakening of Japan(日本の覚醒)』 (ニュー・ヨーク、センチュリー社)	明治37年	当館
岡倉 天心	『The Book of Tea(茶の本)』[初版] (ニュー・ヨーク、フォクス・ダフィールド社)	明治39年	当館
＜詩作と研究＞			
岡倉 天心	「ATAKA(安宅)」(タイプ稿)	明治37年頃	国立大学法人茨城大学
岡倉 天心	「KO ATSUMORI(小敦盛)」(タイプ稿)	明治37年頃	国立大学法人茨城大学
岡倉 天心	「The White Fox(白狐)」(タイプ稿)	大正２年	当館
＜遺愛品＞			
	端溪荷葉硯[天心所用]	明治37－大正２年頃	国立大学法人茨城大学
	水盂および匙[遺愛品]		国立大学法人茨城大学
	筆立て[遺愛品]		国立大学法人茨城大学
	風呂敷[天心所用]		複製(原資料：国立大学法人茨城大学)
＜天心ゆかりの人物＞　イザベラ・S・ガードナー			
イザベラ・S・ガードナー	書簡・岡倉天心宛(大正２年５月23日)	大正２年	当館
イザベラ・S・ガードナー	書簡・岡倉天心宛(年月日不詳)	不詳	当館(岡倉俊彦氏寄贈)

●令和５年度第４回展示

2023(令和５)年11月７日(火)～2024(令和６)年１月８日(月・祝)

作者名	資料名	制作年	所蔵ほか
導入			
新海 竹蔵	岡倉天心肖像	昭和17年	茨城県近代美術館
	崑崙釜	明治37－大正２年頃	国立大学法人茨城大学
	棗		国立大学法人茨城大学
	茶杓		国立大学法人茨城大学
平櫛 田中	鶴氅	昭和40年	個人(寄託)

作者名	資料名	制作年	所蔵ほか
荒井 経	旧岡倉天心邸書斎復元障壁画	令和３年	当館
岡倉 天心	羽織[天心着用]	明治37－大正２年頃	複製(原資料：国立大学法人茨城大学)
間島 秀徳	Kinesis No.722(blue) ＊展示期間は11月26日まで	平成30年	個人
間島 秀徳	Kinesis No.723(top) ＊展示期間は11月26日まで	平成30年	作家
岡倉 天心	漢詩(無題)　＊展示期間は11月28日から	明治45年－大正元年頃	複製(原資料：当館)
① 生い立ちと修業時代			
	横浜開港見聞誌	文久２年	当館
	文部省辞令(明治17年６月25日)	明治17年	国立大学法人茨城大学
	文部省辞令(明治17年12月10日)	明治17年	国立大学法人茨城大学
② 美術行政への参画と古美術の保存			
岡倉 天心	書簡・佐野常民宛(明治19年９月24日)	明治19年	当館(斉藤昭氏寄贈)
赤羽 順之(知足・雪邦)	臨画(倣夏珪山水図、雪舟(原本))［東京美術学校授業課題画］	明治22－28年頃	当館
下村 晴三郎(観山)	写生(風呂敷包み)［東京美術学校授業課題画］	明治22－23年頃	当館
	東京美術学校校服[木村武山着用]	明治24－29年頃	複製(原資料：国立大学法人茨城大学)
	東京美術学校制帽[下村観山着用]	明治22－27年頃	複製(原資料：国立大学法人茨城大学)
③ 理想の実現に向けて 日本美術院の創立			
	『日本美術』(第１号明治31年10月)	明治31年	当館
横山 大観	天心先生作日本美術院院歌「谷中鶯」	昭和14年	複製(原資料：日本美術院)
④ 東洋の美と心を世界に 国際人“KAKUZO”			
岡倉 天心	『Modern Problems in Painting (絵画における近代の問題)』(草稿)	明治37年	個人(寄託)
岡倉 天心、アーサー・フェアバンクス	書簡・新納忠之介宛(明治44年４月22日)	明治44年	当館(新納義雄氏寄贈)
岡倉 天心	浮世絵概説	明治38年	当館
⑤ 新たなる飛躍の地“五浦” 日本美術院の移転			
横山 大観	朝顔日記	明治33年頃	茨城県近代美術館
菱田 春草	砧	明治38年頃	茨城県近代美術館
木村 武山	小楠公	明治36年頃	茨城県近代美術館
木村 武山	曾我兄弟	明治39－40年頃	個人(寄託)
木村 武山	菅公太宰府配處之図	明治36－39年頃	茨城県近代美術館
	龍王丸		複製(原資料：国立大学法人茨城大学) 星野洋三氏製作寄贈
⑥ 日本美術院の五浦時代と仲秋観月会			
横山 大観	五浦スケッチ	大正５年	当館
	日本美術院研究所平面図	明治39年頃	国立大学法人茨城大学
渡辺 鼓堂	「五浦の月」[『いはらき新聞』記事] (明治40年９月26日)	明治40年	複製(原資料：当館)
⑦ 晩年の天心 再興日本美術院			
岡倉 天心	書簡・小林古径宛(明治42年８月11日)	明治42年	個人(寄託)
岡倉 天心	書簡・新納忠之介、夫人宛(大正２年４月15日)	大正２年	当館(新納義雄氏寄贈)
プリヤンバダ・デーヴィ・バネルジー	書簡・岡倉天心宛(大正元年10月１日)	大正元年	当館
⑧ テーマ展示			
	写真アルバム「高村光雲関連写真帳」	不詳	当館(小林育子氏寄贈)
岡倉 天心	“Le livre du Thé”(『茶の本』フランス語版) (アンドレ・デルプック(パリ)発行)	1927年	当館
岡倉 天心	“EL LlBRO DEL TE”(『茶の本』スペイン語版) (モンタネル・イ・シモン(バルセロナ)発行)	1946年	当館
⑨ 創作者天心			
＜英文著作３部作＞			

作者名	資料名	制作年	所蔵ほか
岡倉 天心	『The Ideals of the East(東洋の理想)』[初版] (ロンドン、ジョン・マレー社)	明治36年	当館
岡倉 天心	『The Awakening of Japan(日本の覚醒)』 (ニュー・ヨーク、センチュリー社)	明治37年	当館
岡倉 天心	『The Book of Tea(茶の本)』[初版] (ニュー・ヨーク、フォクス・ダフィールド社)	明治39年	当館
＜詩作と研究＞			
岡倉 天心	「ATAKA(安宅)」(タイプ稿)	明治37年頃	国立大学法人茨城大学
岡倉 天心	「KO ATSUMORI(小敦盛)」(タイプ稿)	明治37年頃	国立大学法人茨城大学
岡倉 天心	「The White Fox(白狐)」(タイプ稿)	大正２年	当館
＜遺愛品＞			
	端溪荷葉硯[天心所用]	明治37－大正２年頃	国立大学法人茨城大学
	水盂および匙[遺愛品]		国立大学法人茨城大学
	筆立て[遺愛品]		国立大学法人茨城大学
	風呂敷[天心所用]		複製(原資料：国立大学法人茨城大学)
＜天心ゆかりの人物＞　新納忠之介			
佐伯 定胤	書簡・新納忠之介宛(昭和21年３月30日)	昭和21年	当館(新納義雄氏寄贈)
新納 忠夫	新納忠之介アルバム	昭和38年	個人(寄託)

●令和５年度第５回展示

2024(令和６)年１月10日(水)～３月10日(日)

作者名	資料名	制作年	所蔵ほか
導入			
新海 竹蔵	岡倉天心肖像	昭和17年	茨城県近代美術館
	崑崙釜	明治37－大正２年頃	国立大学法人茨城大学
	棗		国立大学法人茨城大学
	茶杓		国立大学法人茨城大学
平櫛 田中	鶴氅	昭和40年	個人(寄託)
荒井 経	旧岡倉天心邸書斎復元障壁画	令和３年	当館
岡倉 天心	羽織[天心着用]	明治37－大正２年頃	複製(原資料：国立大学法人茨城大学)
岡倉 天心	漢詩(無題)	明治45－大正元年頃	複製(原資料：当館)
① 生い立ちと修業時代			
	横浜開港見聞誌	文久２年	当館
岡倉 由三郎	岡倉家系図	昭和２年	当館
② 美術行政への参画と古美術の保存			
岡倉 天心	書簡・佐野常民宛(明治19年９月24日)	明治19年	当館(斉藤昭氏寄贈)
川勝 勘兵衛	写生(伎楽面)［東京美術学校授業課題画］	明治24－30年頃	当館
下村 晴三郎(観山)	写生(貝)［東京美術学校授業課題画］	明治22－27年頃	当館
	東京美術学校校服[木村武山着用]	明治24－29年頃	複製(原資料：国立大学法人茨城大学)
	東京美術学校制帽[下村観山着用]	明治22－27年頃	複製(原資料：国立大学法人茨城大学)
③ 理想の実現に向けて　日本美術院の創立			
	『日本美術』(第１号明治31年10月)	明治31年	当館
横山 大観	天心先生作日本美術院院歌「谷中鶯」	昭和14年	複製(原資料：日本美術院)
④ 東洋の美と心を世界に　国際人“KAKUZO”			
岡倉 天心	『Modern Problems in Painting (絵画における近代の問題)』(草稿)	明治37年	個人(寄託)
岡倉 天心	書簡・新納忠之介宛(明治38年６月30日)	明治38年	当館
岡倉 天心	浮世絵概説	明治38年	当館
⑤ 新たなる飛躍の地“五浦”日本美術院の移転			
横山 大観	山に因む十題　霊峰四趣・其一春	昭和15年	茨城県近代美術館
菱田 春草	冨士	明治42年頃	茨城県近代美術館

作者名	資料名	制作年	所蔵ほか
下村 観山	布袋	大正５年	個人(寄託)
木村 武山	老松ニ鷹	大正９－10年頃	個人(寄託)
木村 武山	聖観音	大正12－14年頃	個人(寄託)
	龍王丸		複製(原資料：国立大学法人茨城大学) 星野洋三氏製作寄贈
⑥ 日本美術院の五浦時代と仲秋観月会			
横山 大観	五浦スケッチ	大正５年	当館
	横山大観邸平面図	明治39年	国立大学法人茨城大学
	菱田春草邸平面図	明治39年	国立大学法人茨城大学
⑦ 晩年の天心 再興日本美術院			
岡倉 天心	書簡・安田靫彦宛(明治42年５月21日)	明治42年	当館
黒板子	葉書・新納忠之介(明治41年７月23日)	明治41年	当館(新納義雄氏寄贈)
岡倉 天心	書簡・新納忠之介、夫人宛 (大正２年４月15日)	大正２年	当館(新納義雄氏寄贈)
プリヤンバダ・デーヴィ・バネルジー	書簡・岡倉天心宛(大正元年10月６日)	大正元年	当館
⑧ テーマ展示			
横山　大観・下村観山(新納　忠之介写本)	書簡・新納忠之介宛(大正３年５月７日)	大正３年	当館(新納義雄氏寄贈)
	美術院事務所(奈良無量院内)での天心命日の供養	大正６年	当館(新納義雄氏寄贈)
⑨ 創作者天心			
＜英文著作３部作＞			
岡倉 天心	『The Ideals of the East(東洋の理想)』[初版] (ロンドン、ジョン・マレー社)	明治36年	当館
岡倉 天心	『The Awakening of Japan(日本の覚醒)』 (ニュー・ヨーク、センチュリー社)	明治37年	当館
岡倉 天心	『The Book of Tea(茶の本)』[初版] (ニュー・ヨーク、フォクス・ダフィールド社)	明治39年	当館
＜詩作と研究＞			
岡倉 天心	「ATAKA(安宅)」(タイプ稿)	明治37年頃	国立大学法人茨城大学
岡倉 天心	「KO ATSUMORI(小敦盛)」(タイプ稿)	明治37年頃	国立大学法人茨城大学
岡倉 天心	「The White Fox(白狐)」(タイプ稿)	大正２年	当館
＜遺愛品＞			
	端溪荷葉硯[天心所用]	明治37－大正２年頃	国立大学法人茨城大学
	水盂および匙[遺愛品]		国立大学法人茨城大学
	筆立て[遺愛品]		国立大学法人茨城大学
	風呂敷[天心所用]		複製(原資料：国立大学法人茨城大学)
＜天心ゆかりの人物＞　新納忠之介			
佐伯 定胤	書簡・新納忠之介宛(昭和21年３月30日)	昭和21年	当館(新納義雄氏寄贈)
新納 忠夫	新納忠之介アルバム	昭和38年	個人(寄託)

●令和５年度第６回展示

2024(令和６)年３月12日(水)～５月12日(日)

作者名	資料名	制作年	所蔵ほか
導入			
新海 竹蔵	岡倉天心肖像	昭和17年	茨城県近代美術館
	崑崙釜	明治37－大正２年頃	国立大学法人茨城大学
	棗		国立大学法人茨城大学
	茶杓		国立大学法人茨城大学
平櫛 田中	鶴氅	昭和40年	個人(寄託)
荒井 経	旧岡倉天心邸書斎復元障壁画	令和３年	当館

作者名	資料名	制作年	所蔵ほか
岡倉 天心	羽織[天心着用]	明治37－大正２年頃	複製(原資料：国立大学法人茨城大学)
岡倉 天心	漢詩(無題)	明治45－大正元年頃	複製(原資料：当館)
① 生い立ちと修業時代			
	横浜開港見聞誌	文久２年	当館
岡倉 由三郎	岡倉家系図	昭和２年	当館
② 美術行政への参画と古美術の保存			
臨時全国宝物取調局	全国宝物取調書	明治30年	当館
岡倉 天心	書簡・新納忠之介宛(明治32年１月28日)	明治32年	当館
横山 秀麿(大観)	写生(蓮根、くわい)［東京美術学校授業課題画］	明治22－26年頃	当館
菅 紀一郎	臨画(徽宗桃鳩図)［東京美術学校授業課題画］	明治22－26年頃	当館
	東京美術学校校服[木村武山着用]	明治24－29年頃	複製(原資料：国立大学法人茨城大学)
	東京美術学校制帽[下村観山着用]	明治22－27年頃	複製(原資料：国立大学法人茨城大学)
③ 理想の実現に向けて 日本美術院の創立			
	『日本美術』(第１号明治31年10月)	明治31年	当館
横山 大観	天心先生作日本美術院院歌「谷中鶯」	昭和14年	複製(原資料：日本美術院)
④ 東洋の美と心を世界に 国際人“KAKUZO”			
岡倉 天心	『Modern Problems in Painting (絵画における近代の問題)』(草稿)	明治37年	個人(寄託)
岡倉 天心	書簡　新納忠之介(明治38年６月30日)	明治38年	当館
岡倉 天心	浮世絵概説	明治38年	当館
⑤ 新たなる飛躍の地“五浦” 日本美術院の移転			
菱田 春草	春の朝	明治35年	茨城県近代美術館
横山 大観	秋の夕	明治35年	茨城県近代美術館
横山 大観	蓬莱山	昭和21年頃	茨城県近代美術館(結城四郎氏寄贈)
木村 武山	貴紳観桜図	明治33－34年頃	茨城県近代美術館
木村 武山	春暖　古面蘭陵王	昭和７－10年頃	個人(寄託)
	龍王丸		複製(原資料：国立大学法人茨城大学) 星野洋三氏製作寄贈
⑥ 日本美術院の五浦時代と仲秋観月会			
	下村観山邸平面図	明治39年	国立大学法人茨城大学
	木村武山邸平面図	明治39年	国立大学法人茨城大学
横山 大観	書簡・齋藤隆三宛(明治40年６月11日)	明治40年	当館(齋藤隆三遺品)
横山 大観	指標木札	明治40年	国立大学法人茨城大学
⑦ 晩年の天心 再興日本美術院			
岡倉 天心	書簡・安田靫彦宛(明治42年５月21日)	明治42年	当館
ボストン美術館	Museum of Fine Arts Bulletin, Dec.,1913	大正２年	当館
岡倉 天心	書簡・新納忠之介宛(大正２年６月４日)	大正２年	当館(新納義雄氏寄贈)
プリヤンバダ・デーヴィ・バネルジー	書簡・岡倉天心宛(大正２年３月３日)	大正元年	当館
⑧ テーマ展示			
横山 大観・下村観山(新納 忠之介写本)	書簡・新納忠之介宛(大正３年５月７日)	大正３年	当館(新納義雄氏寄贈)
	高村光雲を囲んでの集合写真(勧学院にて)	明治40年頃	当館(新納義雄氏寄贈)
⑨ 創作者天心			
＜英文著作３部作＞			
岡倉 天心	『The Ideals of the East(東洋の理想)』[初版](ロンドン、ジョン・マレー社)	明治36年	当館
岡倉 天心	『The Awakening of Japan(日本の覚醒)』(ニュー・ヨーク、センチュリー社)	明治37年	当館

作者名	資料名	制作年	所蔵ほか
岡倉 天心	『The Book of Tea(茶の本)』[初版] (ニュー・ヨーク、フォクス・ダフィールド社)	明治39年	当館
＜詩作と研究＞			
岡倉 天心	「ATAKA(安宅)」(タイプ稿)	明治37年頃	国立大学法人茨城大学
岡倉 天心	「KO ATSUMORI(小敦盛)」(タイプ稿)	明治37年頃	国立大学法人茨城大学
岡倉 天心	「The White Fox(白狐)」(タイプ稿)	大正２年	当館
＜遺愛品＞			
	端溪荷葉硯[天心所用]	明治37－大正２年頃	国立大学法人茨城大学
	水盂および匙[遺愛品]		国立大学法人茨城大学
	筆立て[遺愛品]		国立大学法人茨城大学
	風呂敷[天心所用]		複製(原資料：国立大学法人茨城大学)
＜天心ゆかりの人物＞　新納忠之介			
岡倉 天心	書簡・新納忠之介宛(明治42年９月29日)	明治42年	当館(新納義雄氏寄贈)
新納 忠之介	スケッチブック	明治43年	当館(新納義雄氏寄贈)

(2) 資料テーマ展示

●テーマ名　令和４年度新収蔵資料紹介(前期)
●会　　期　2023(令和５)年５月16日(火)～９月10日(月)
●内容解説　令和４年度、当館のコレクションに新たに34点の資料が加わった。前期展示では、再興日本美術院の経営に携わった守谷市出身の歴史学者・齋藤隆三の関連資料を紹介した。
●展示資料　・木村武山、下村観山、菱田春草、横山大観「書簡・齋藤隆三宛」明治40年(1907) １月15日／当館蔵(齋藤隆三遺品)
●担　　当　木澤沙羅(学芸員)

●テーマ名　令和４年度新収蔵資料紹介(後期)
●会　　期　2023(令和５)年９月12日(火)～2024(令和６)年１月８日(月)
●内容解説　後期展示では、高村光雲に関する寄贈資料と、新規購入した岡倉天心『茶の本』のフランス語版、スペイン語版を展示した。
●展示資料　・写真アルバム「高村光雲関連写真帳」制作年不詳／小林三郎撮影／当館蔵(小林育子氏寄贈)
・岡倉天心『茶の本』フランス語版“Le livre du Thé” 1927年／長谷川路可(挿絵) ／ガブリエル・ムーレ(仏訳) ／アンドレ・デルプック(パリ)発行／当館蔵
・岡倉天心『茶の本』スペイン語版“EL LlBRO DEL TE” 1946年／アレハンドロ・コール(挿絵) ／F.S.モンタネル(西訳) ／モンタネル・イ・シモン(バルセロナ)発行／当館蔵
●担　　当　木澤沙羅(学芸員)

●テーマ名　再興日本美術院と美術院～大観・観山、新納忠之介による継承～
●会　　期　2024(令和６)年１月10日(水)～５月12日(日)
●内容解説　大正３年５月７日付けで新納に宛てられた横山大観・下村観山連名の書簡を軸に、上野谷中での再興時の日本美術院発起人の写真ともオーバーラップする奈良美術院での天心忌の写真などもあわせて展示し、組織改編へと進む再興前後の日本美術院の動きを紹介した。
●展示資料　・横山大観・下村観山「書簡・新納忠之介宛」大正３年(1914) ５月７日／当館蔵(新納義雄氏寄贈)
・「高村光雲を囲んでの集合写真(勧学院にて)」明治40(1907)年頃／当館蔵(新納義雄氏寄贈)
※後期展示(3/12-5/12)、前期は複写を展示
・「美術院事務所(奈良無量院内)での天心命日の供養」大正６(1917)年９月２日／当館蔵(新納義雄氏寄贈)
※前期展示(1/10-3/10) 後期は複写を展示
●担　　当　永宮勤士(主任学芸員)